

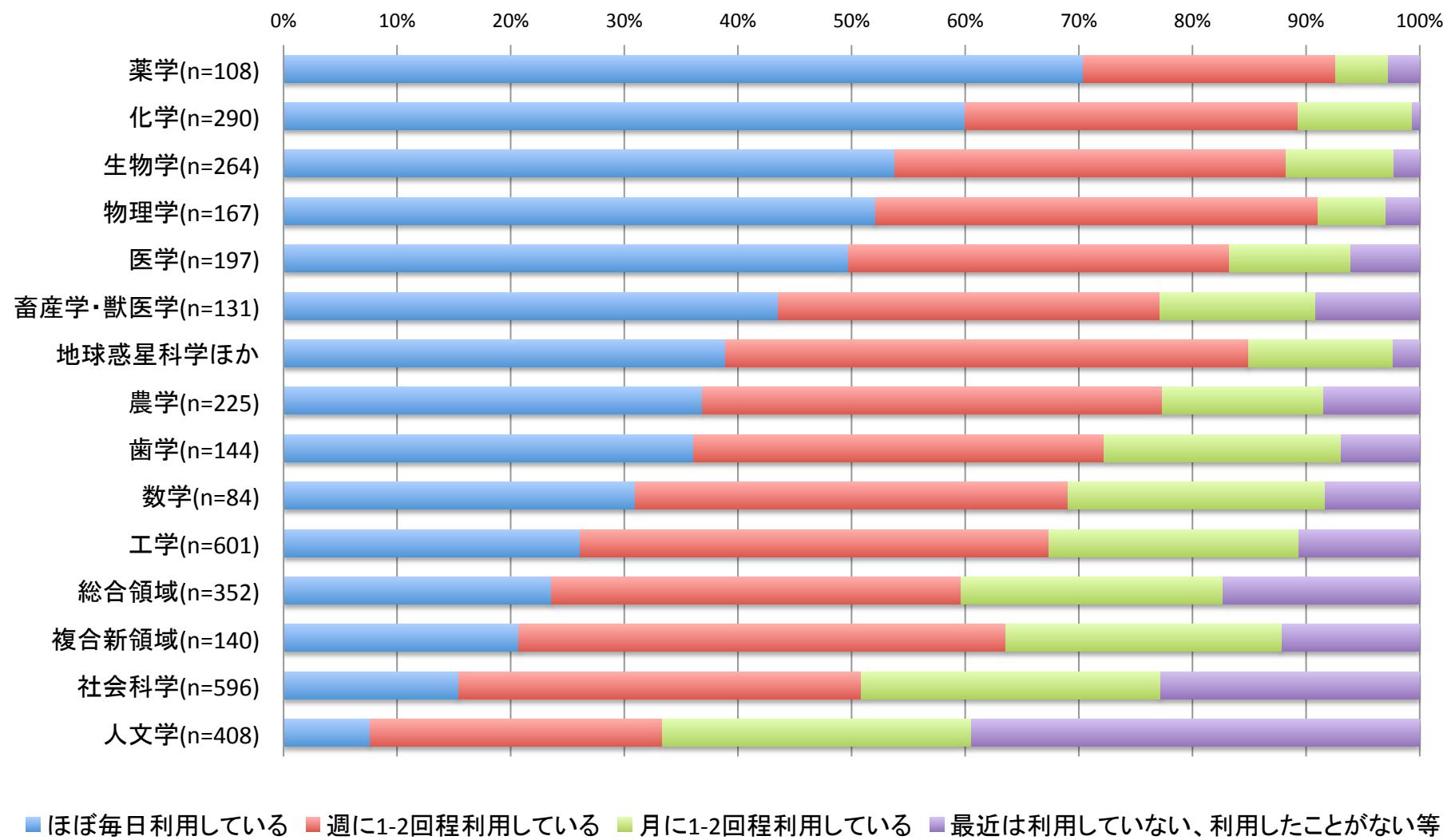
# SCREAL2011調査報告: 2. 電子情報資源の受容、行動、意見

2012.11.20

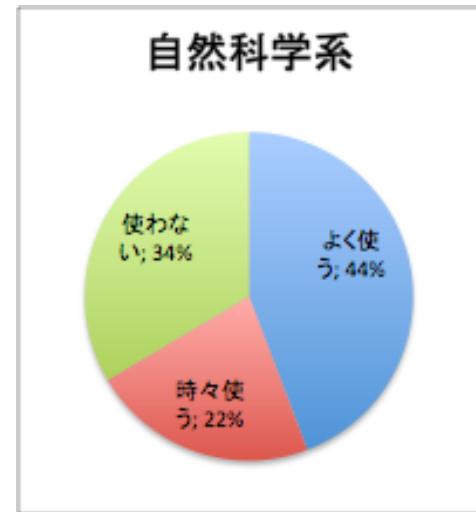
SCREAL委員会

# 電子ジャーナル利用の浸透度(Q15)

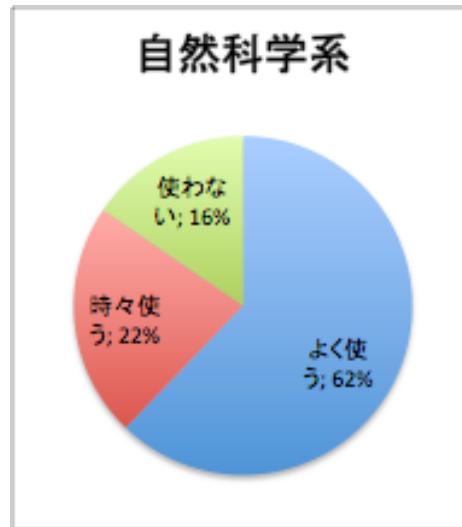
電子ジャーナルをどの程度利用していますか



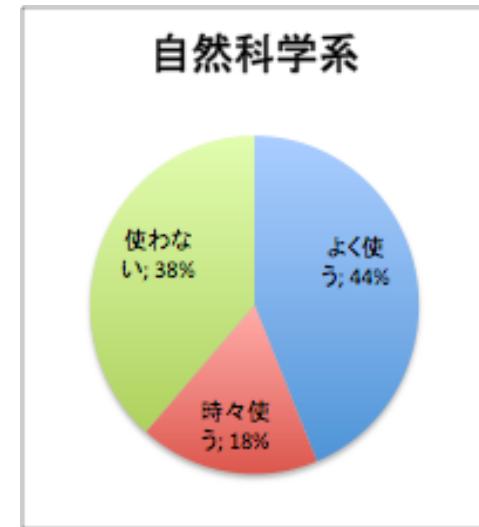
2001 国大図協



2003 国大図協



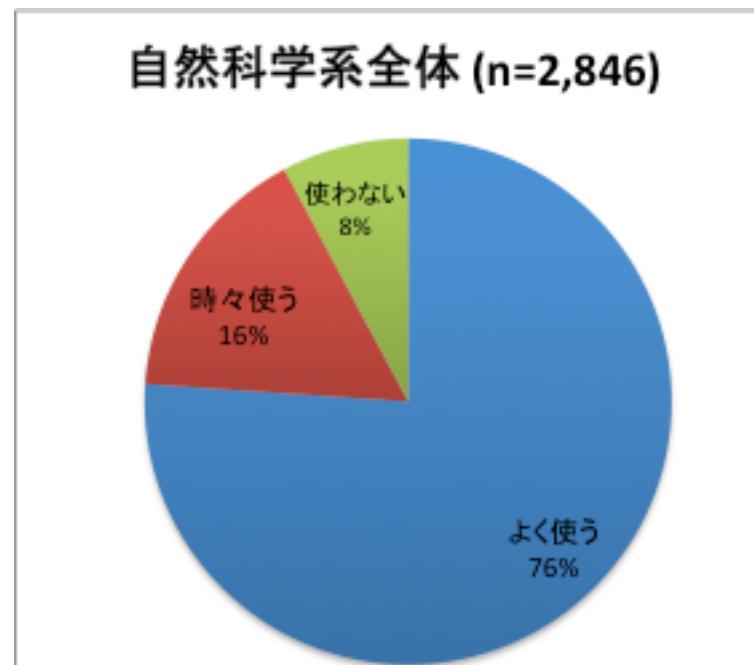
2004 PULC



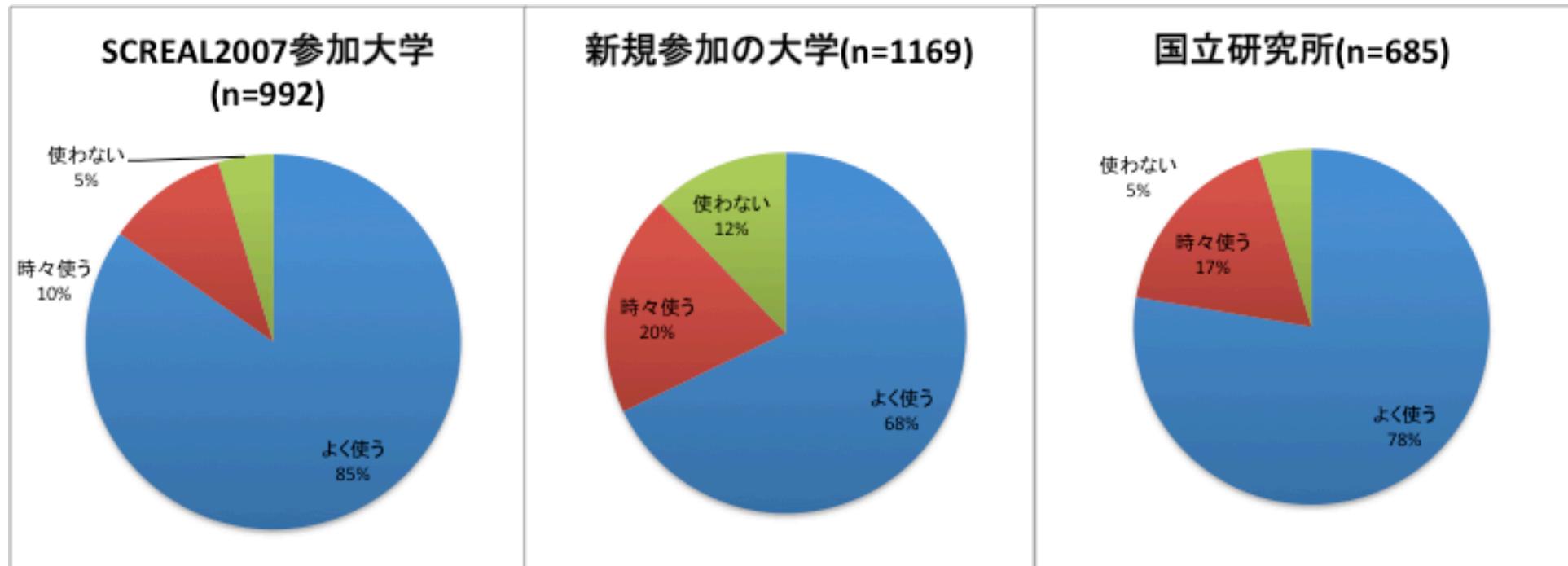
2007 SCREAL



2011 SCREAL



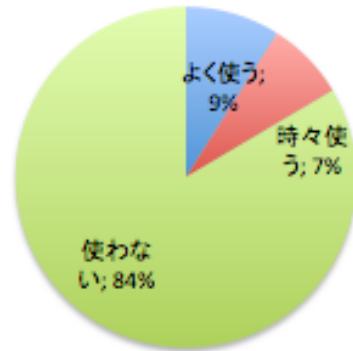
# SCREAL2011 自然科学系



※SCREAMの2007年調査と2011年調査の両方に参加した大学は以下の通り  
北海道大学、東北大大学、筑波大学、千葉大学、東京大学、早稲田大学、慶應義塾大学、一橋大学、立命館大学、大阪大学、広島大学、九州大学

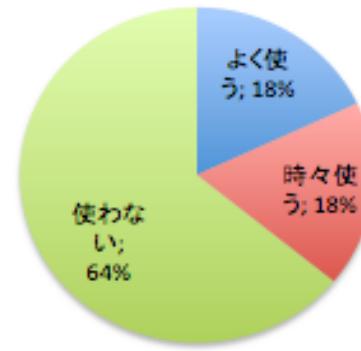
2001 国大図協

人文社会科学系



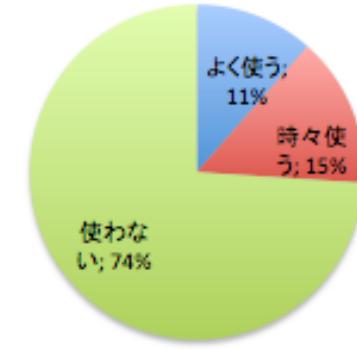
2003 国大図協

人文社会科学系



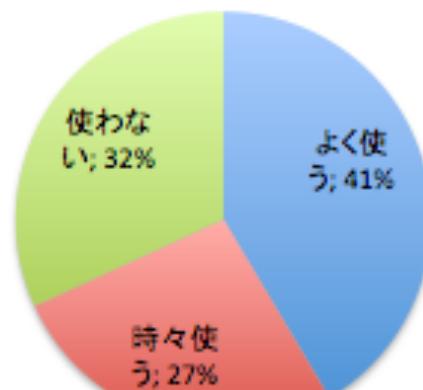
2004 PULC

人文社会科学系



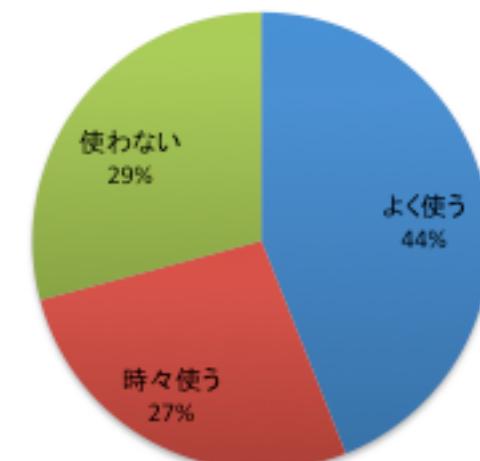
2007 SCREAL

人文社会科学系



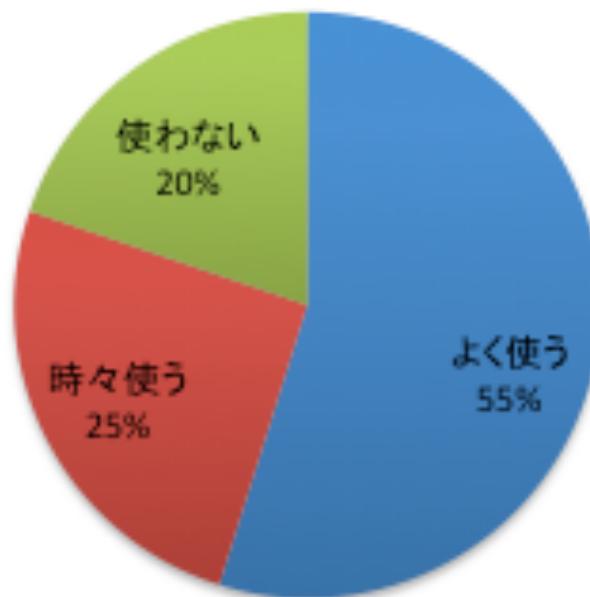
2011 SCREAL

人文社会科学系全体  
(n=1,004)

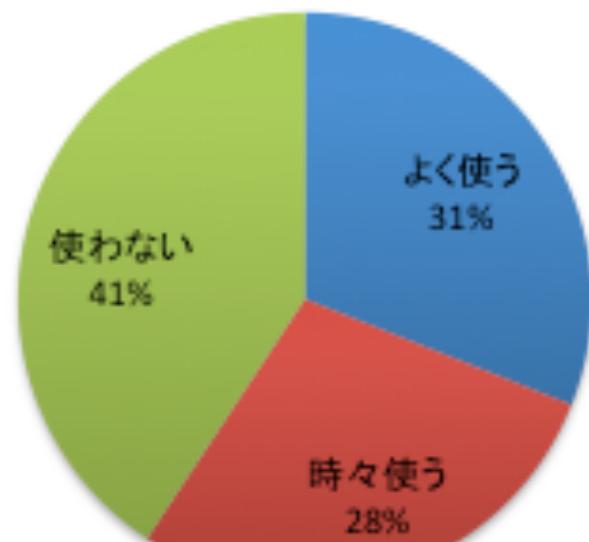


# SCREAL2011 人文社会科学系

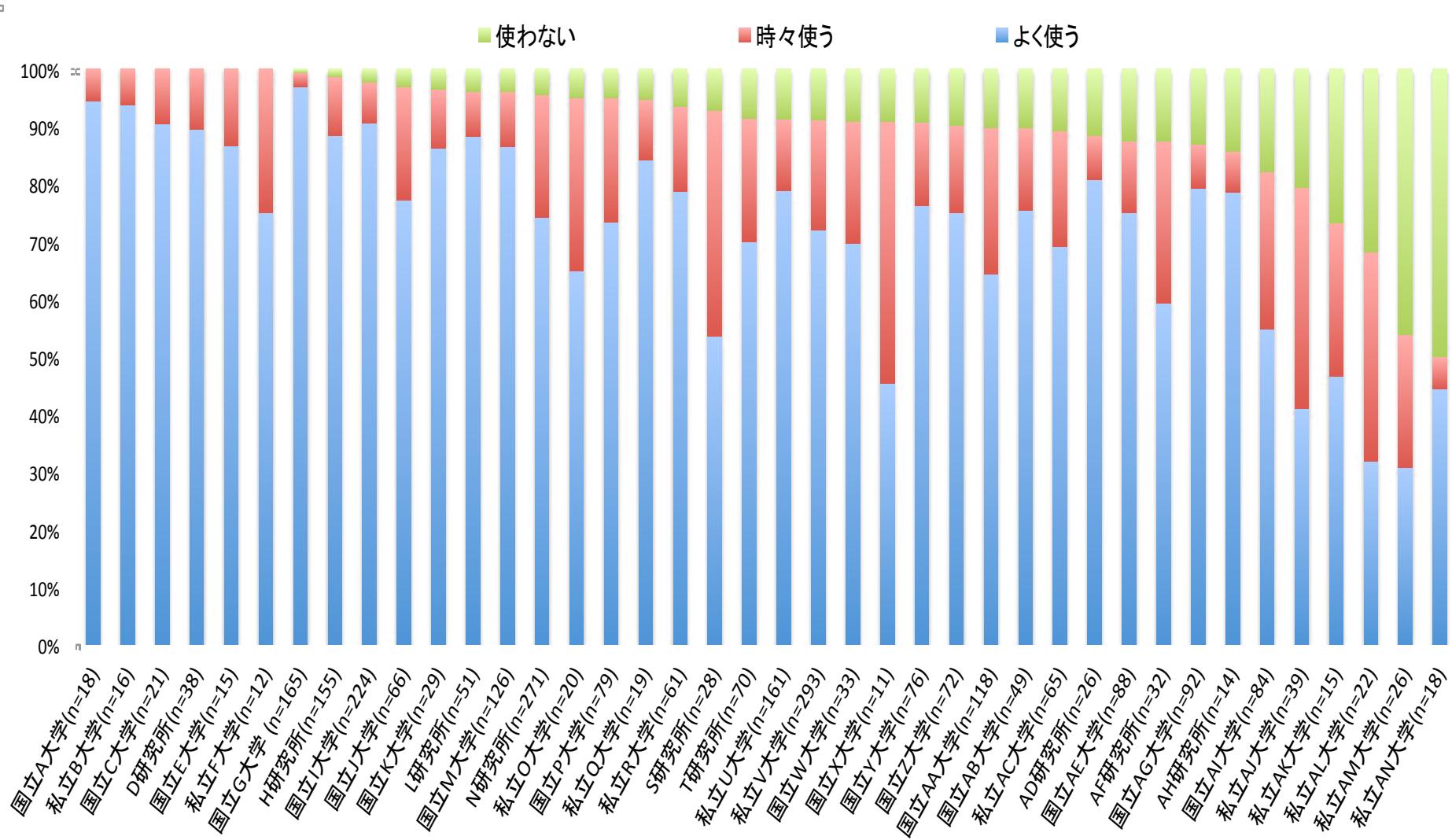
SCREAL2007参加大学  
(n=525)



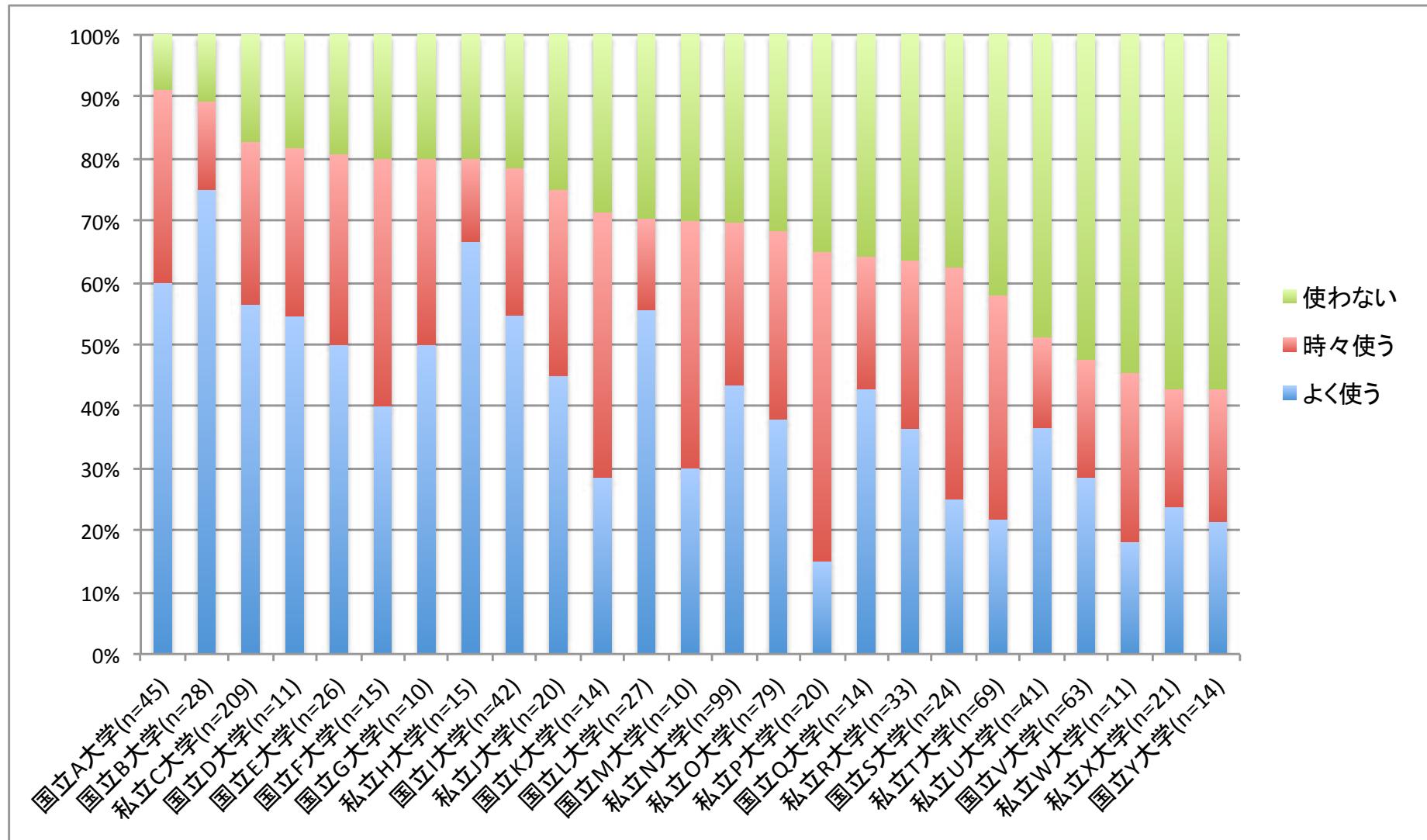
新規参加の大学  
(n=474)



# 機関別結果の比較(自然科学系)



# 機関別結果の比較(人文社会科学系)

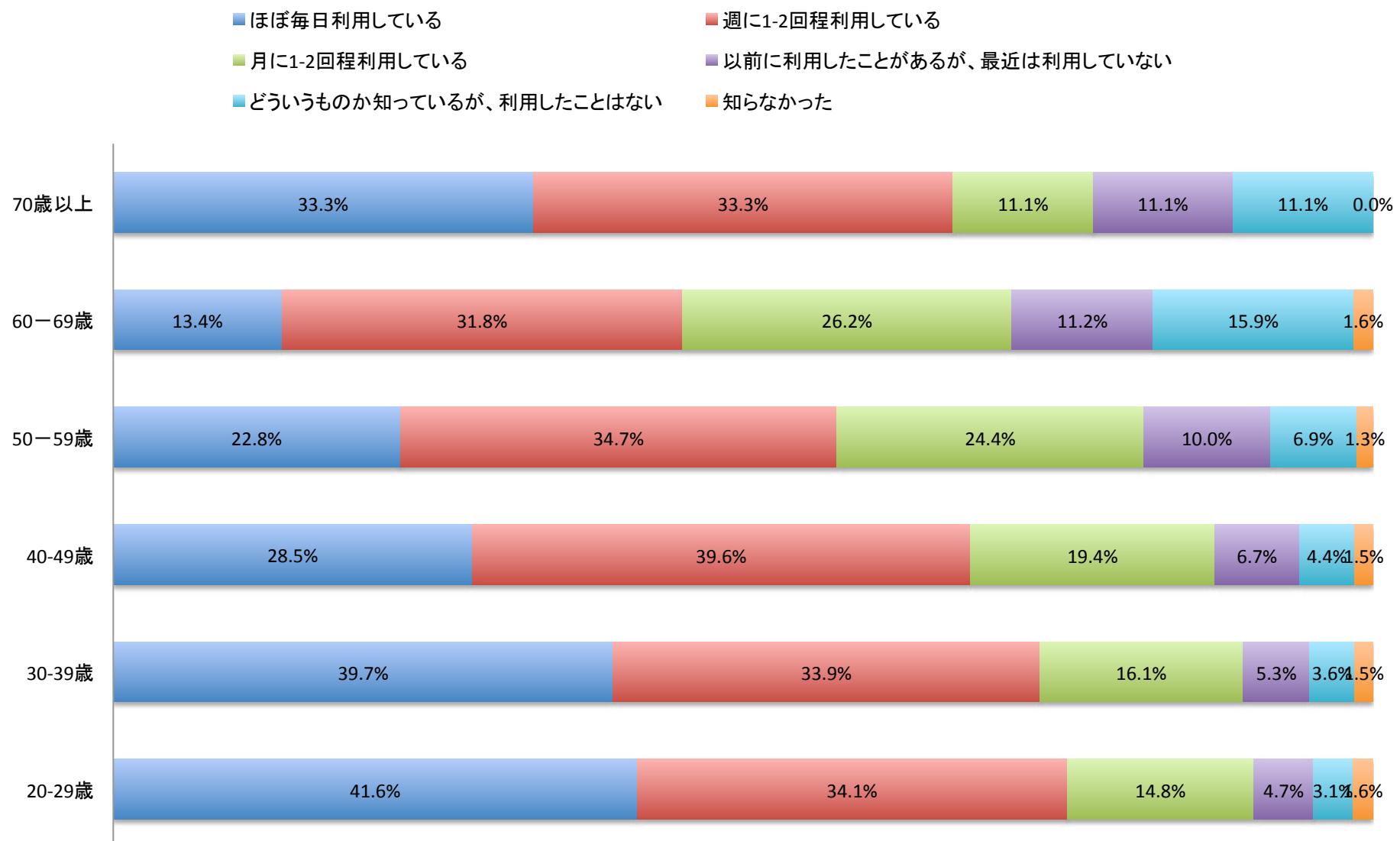


# 電子ジャーナルの浸透度 (ラストリーディングによる分類別)

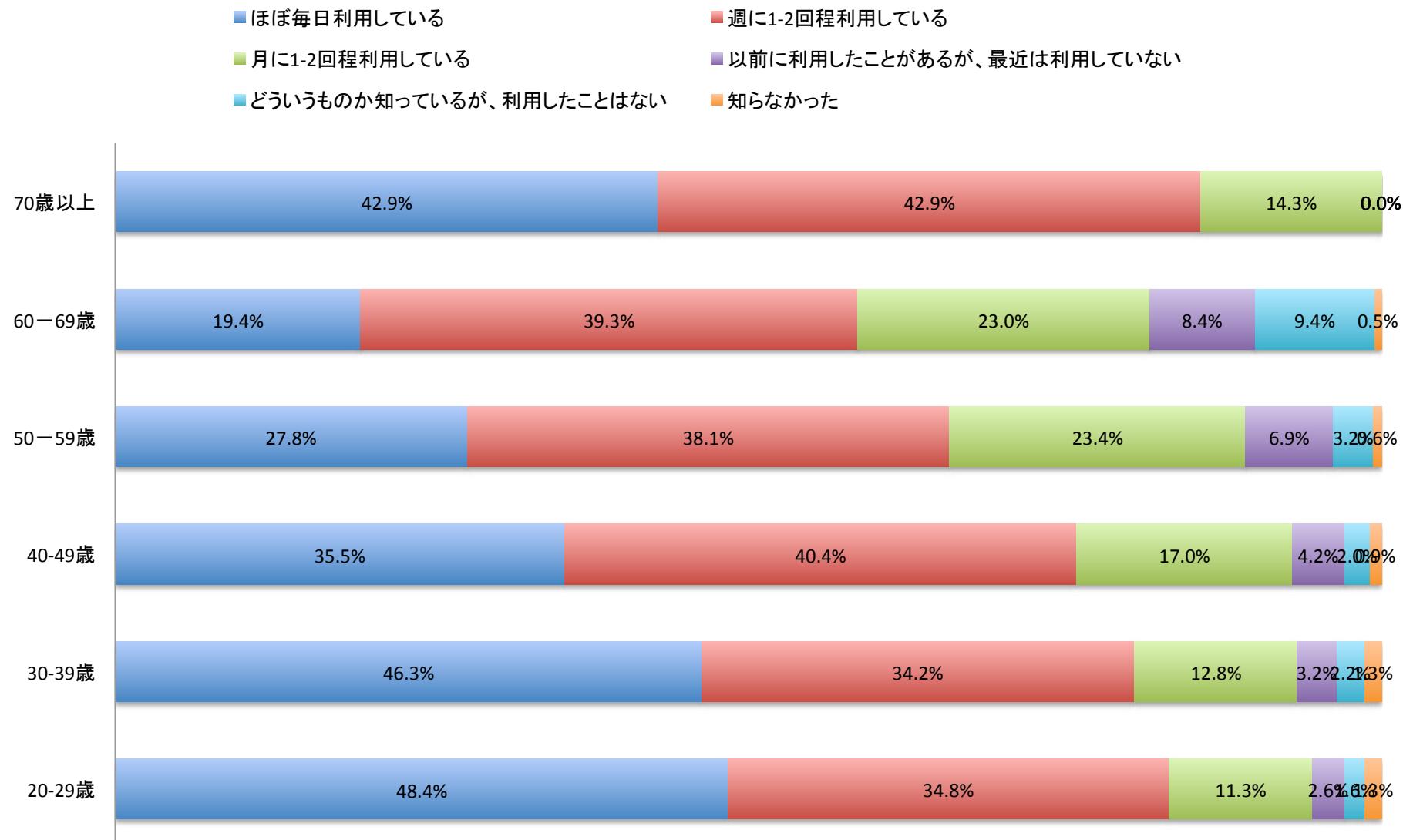
	ほぼ毎日利 用している	週に1 - 2回 程利用して いる	月に1 - 2回 程利用して いる	以前に利 用したこと があるが、最 近は利用し ていない	利 用したこ とはない / 知らなかっ た	合計	Pearson's X <sup>2</sup> test
<b>自然科学</b>							
国際的文献 の利用者	1,070	911	277	28	34	2,320	p-value = . 000
	46.1%	39.3%	11.9%	1.2%	1.5%	100%	
日本語文献 の利用者	33	112	119	59	37	360	
	9.2%	31.1%	33.1%	16.4%	10.3%	100%	
<b>人文社会科学</b>							
国際的文献 の利用者	81	178	96	26	20	401	p-value = . 000
	20.2%	44.4%	23.9%	6.5%	5.0%	100%	
日本語文献 の利用者	45	113	125	82	94	459	
	9.8%	24.6%	27.2%	17.9%	20.5%	100%	

※工学、総合領域、複合新領域、社会科学、人文科学で顕著な差が見られた  
 ※2007年調査のデータでも同様の差が観測された

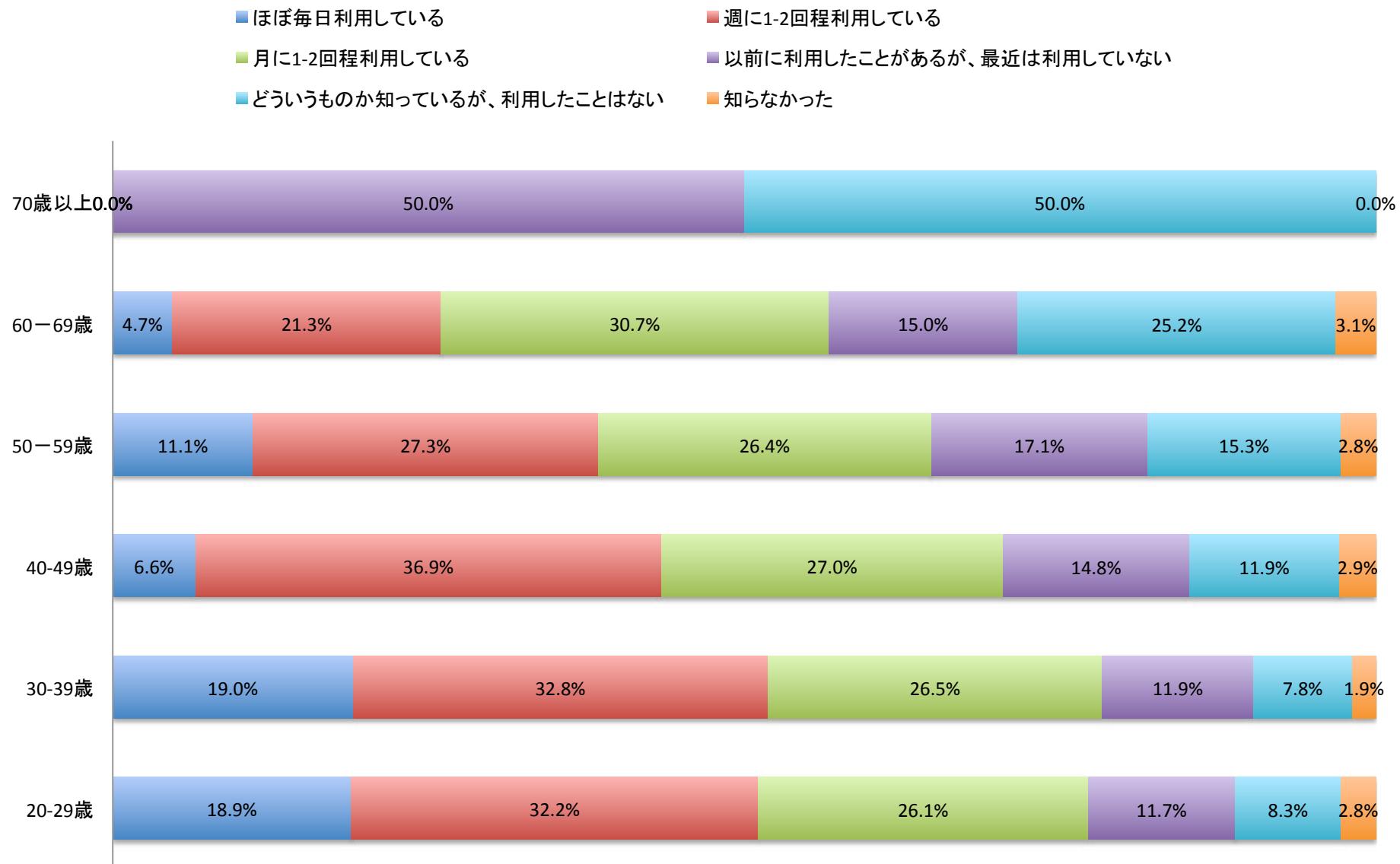
## 「電子ジャーナルをどの程度利用していますか(目次の閲覧を含む)」と 「年代」のクロス表(全体)



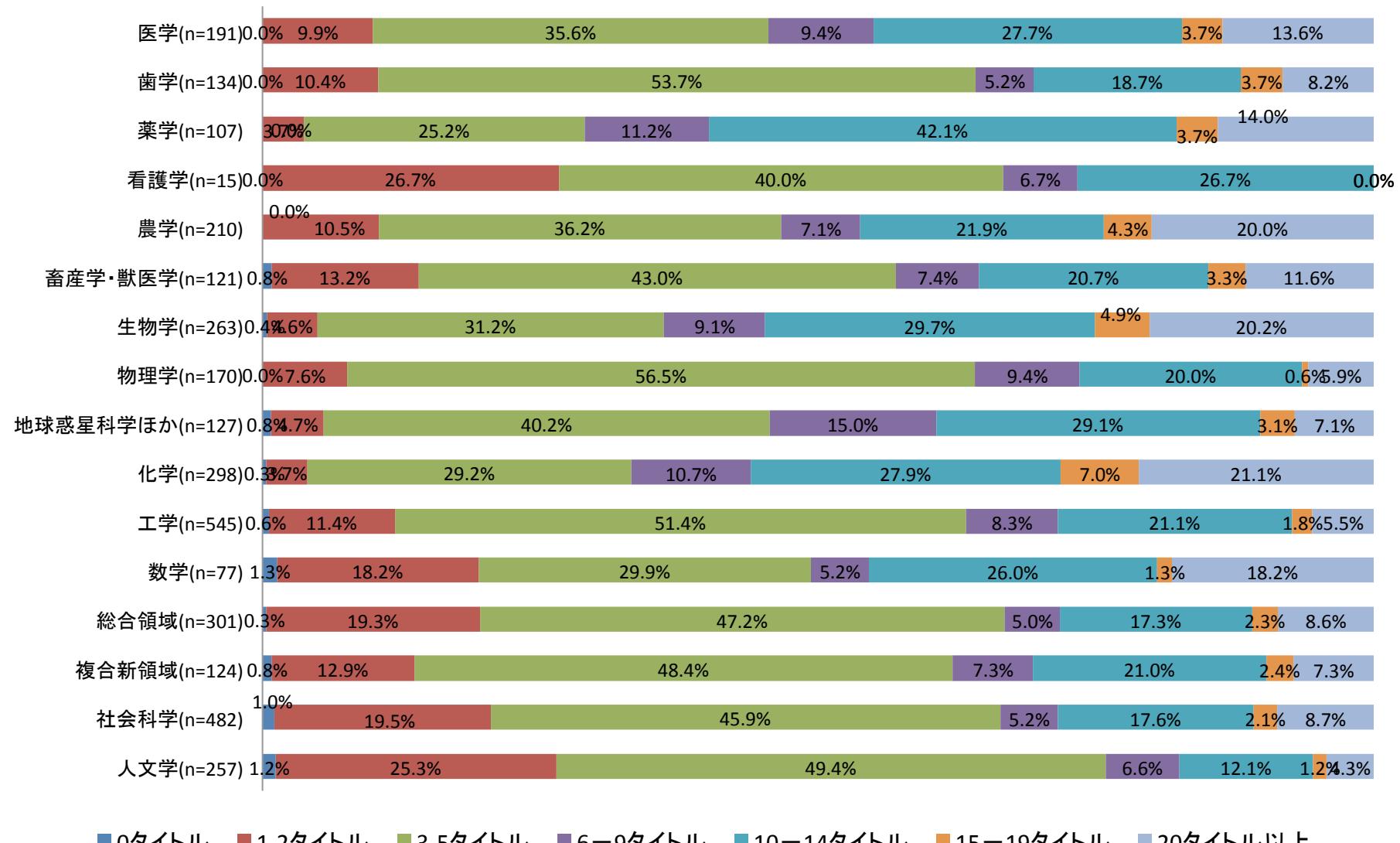
## 「電子ジャーナルをどの程度利用していますか(目次の閲覧を含む)」と 「年代」のクロス表(自然科学)



## 「電子ジャーナルをどの程度利用していますか(目次の閲覧を含む)」と 「年代」のクロス表(人文社会科学)



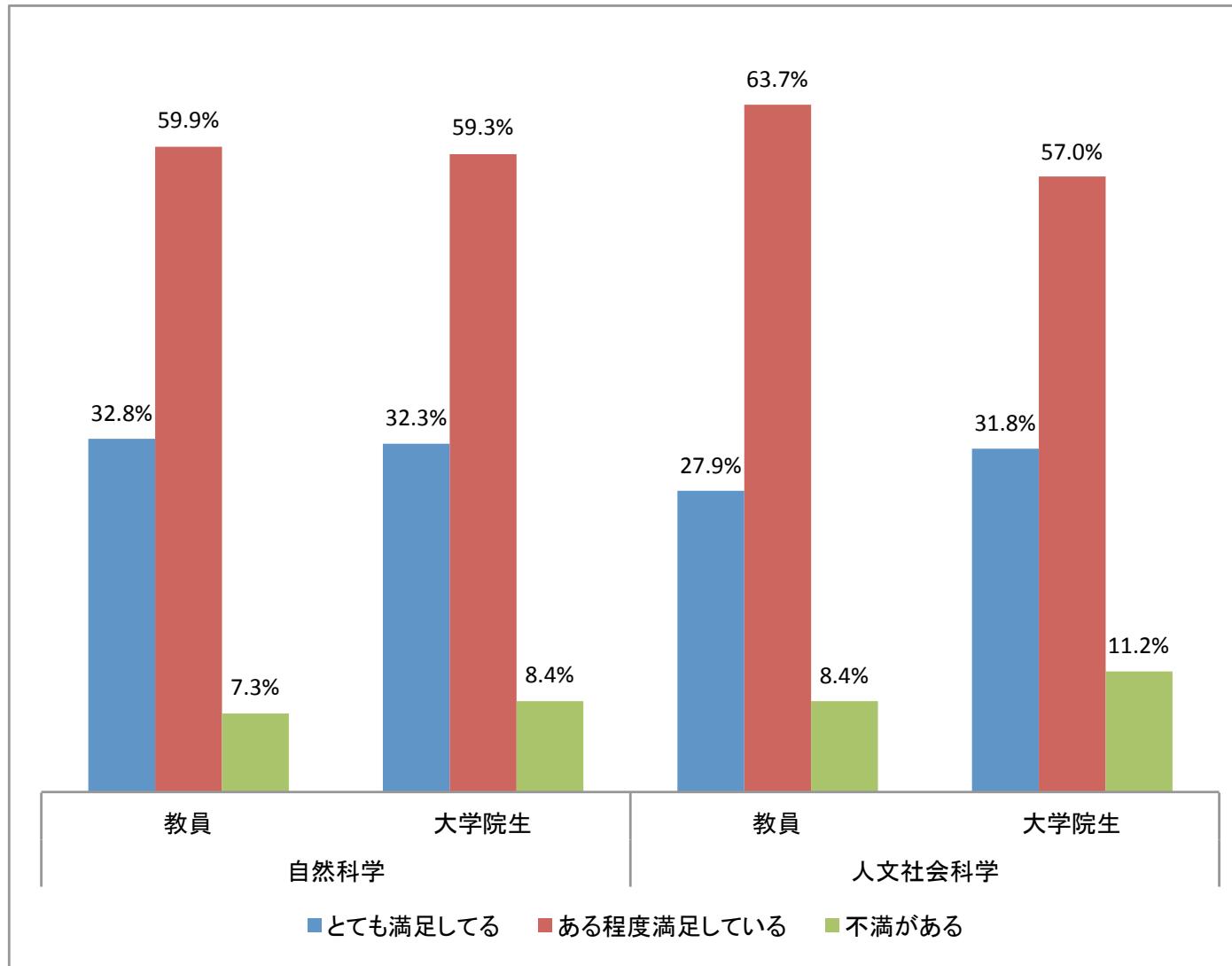
# 日頃利用しているタイトル数(Q15-2)



# 利用している電子ジャーナルに関する 満足度 (Q15-3)

		自然科学		人文社会科学		合計
		教員	大学院生	教員	大学院生	
とても満足している	度数	644	214	136	77	1,071
	割合(%)	32.8%	32.3%	27.9%	31.8%	31.9%
ある程度満足している	度数	1,178	393	311	138	2,020
	割合(%)	59.9%	59.3%	63.7%	57.0%	60.1%
不満がある	度数	144	56	41	27	268
	割合(%)	7.3%	8.4%	8.4%	11.2%	8.0%
合計	度数	1,966	663	488	242	3,359

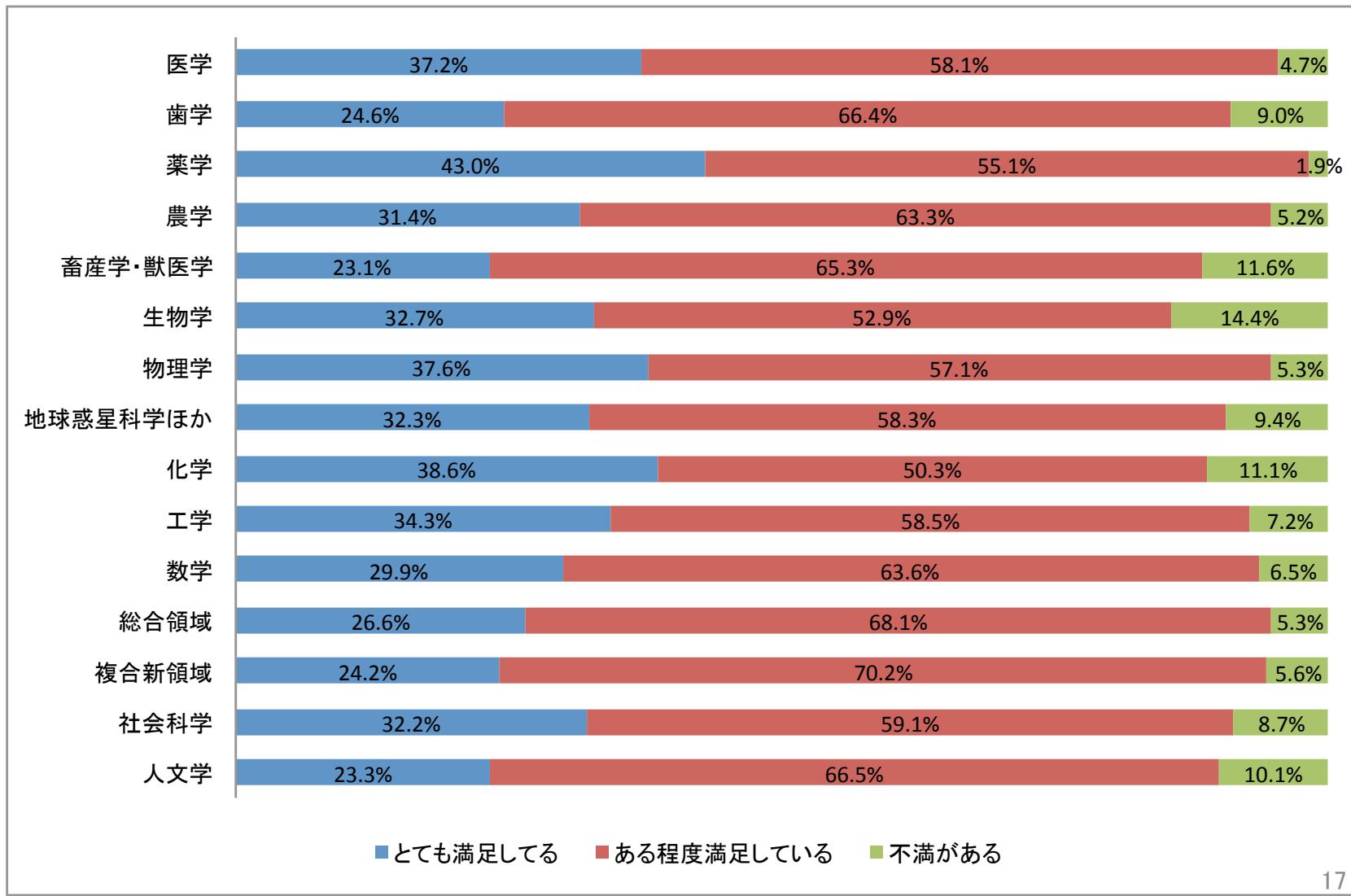
# 利用している電子ジャーナルに関する 満足度 (Q15-3)



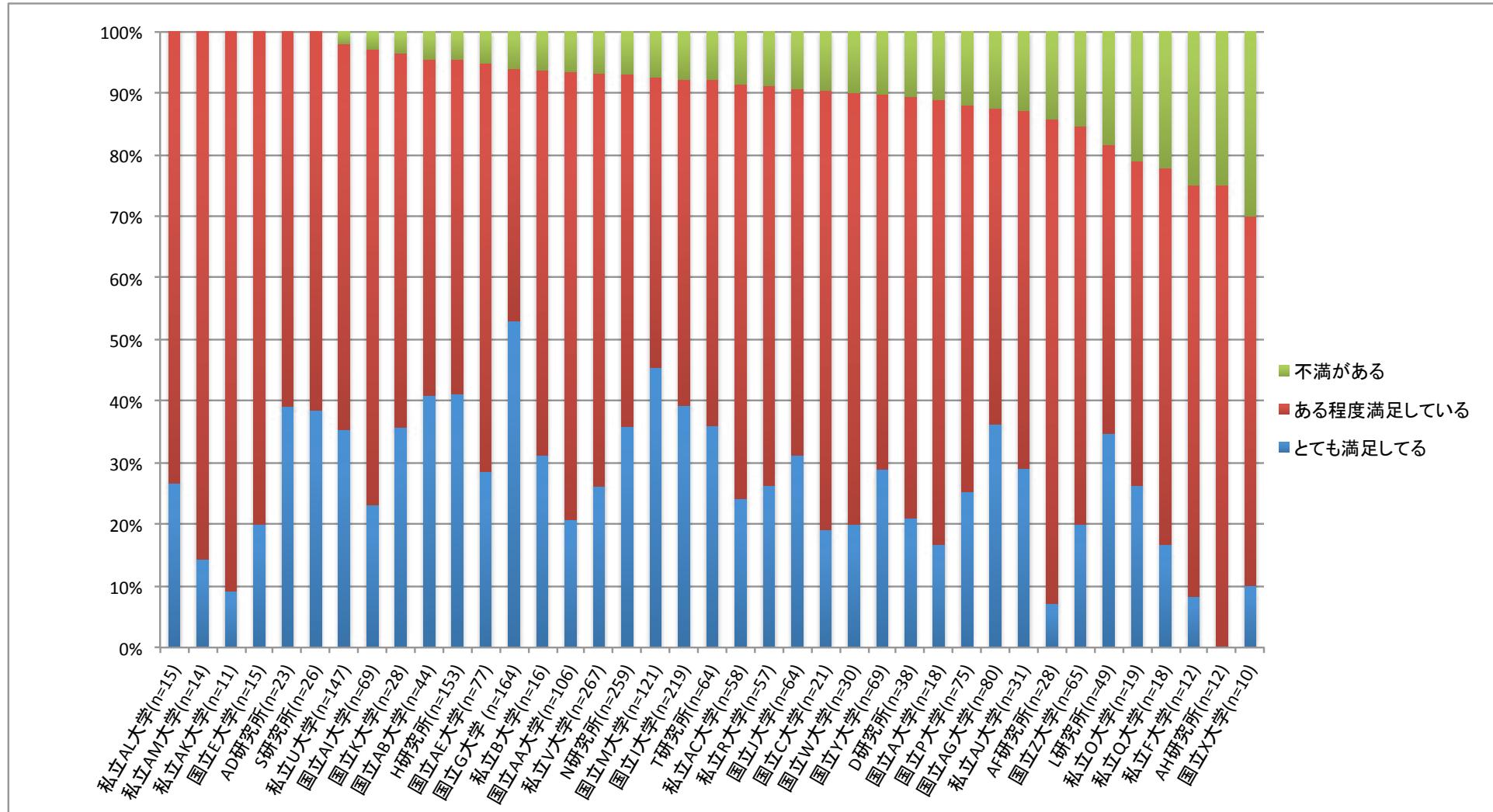
# 電子ジャーナルの満足度 (ラストリーディングによる分類別)

		とても満足して る	ある程度 満足して いる	不満があ る	合計	Pearson's X <sup>2</sup> test
自然科学						
	国際的文献の 利用者	778	1, 300	176	2, 254	p-value = .000
	日本語文献の 利用者	60	188	18	266	
人文社会科学						
	国際的文献の 利用者	126	182	43	351	p-value = .000
	日本語文献の 利用者	67	198	20	285	

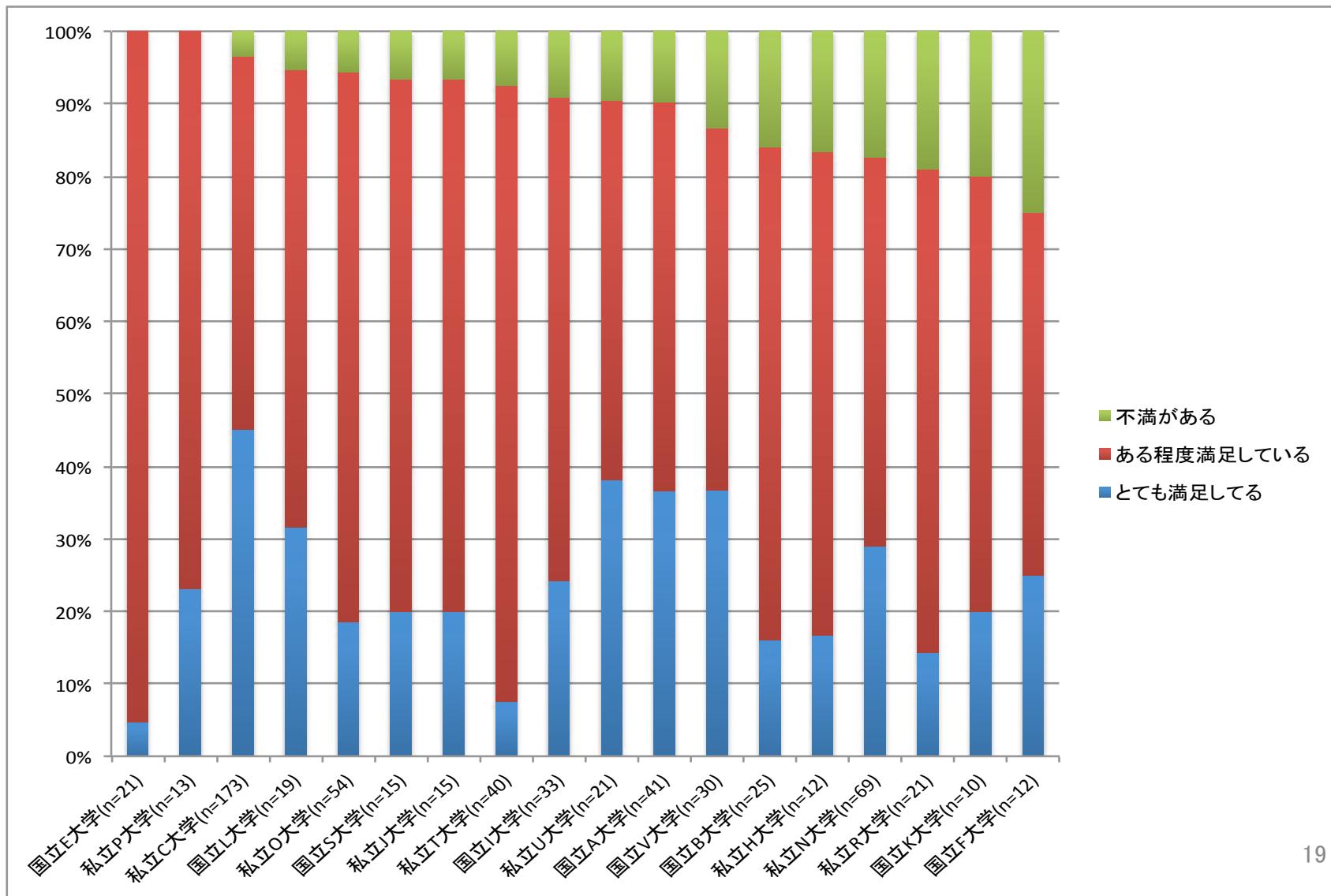
# 利用している電子ジャーナルに関する満足度 (Q15-3；分野別)



# 利用している電子ジャーナルに関する満足度 (Q15-3；機関別、自然科学系)



# 利用している電子ジャーナルに関する満足度 (Q15-3；機関別、人文社会科学系)



## 不満の内容

- ・「不満がある」とした回答者の96%以上が、具体的なコメントを記入
  - アクセス対象(タイトル)の限定 (=自分の利用したいタイトルが利用できない)
  - バックナンバー
  - 最新刊(が読めない)
  - 費用
  - 利用方式(PDFが利用できない等)

# 電子ジャーナルを利用しない理由(Q15-4)

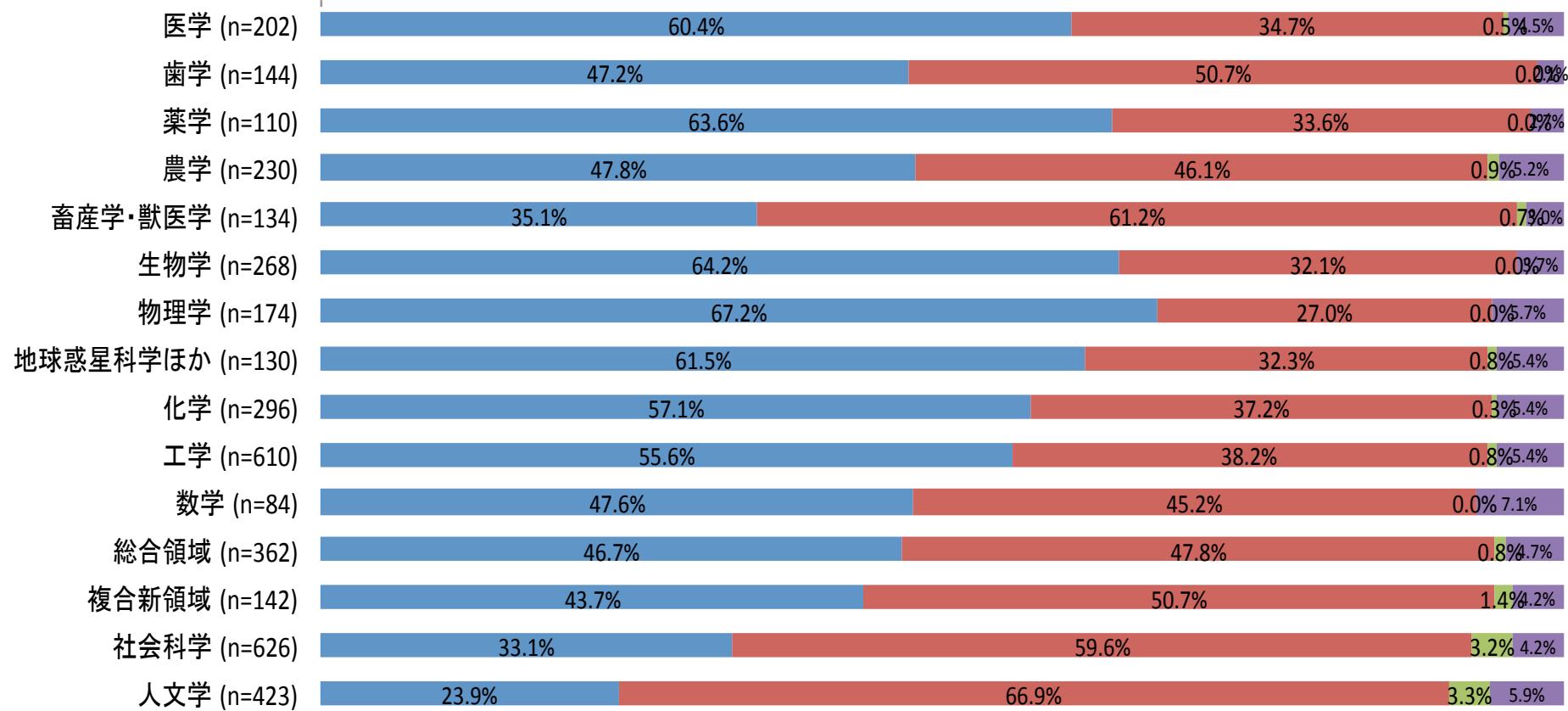
		自然科学		人文社会科学	
		2011	2007	2011	2007
利用したいタイトルがないから	度数	12	8	18	6
	割合 (%)	5.1%	7.1	5.8%	5.0
自分の研究分野では電子ジャーナル がほとんどないから	度数	38	27	111	68
	割合 (%)	16.2%	24.1	35.9%	57.1
利用方法がわからないから	度数	68	27	66	25
	割合 (%)	29.1%	24.1	21.4%	21.0
印刷体があれば十分だから	度数	57	31	83	37
	割合 (%)	24.4%	27.7	26.9%	31.1
バックナンバーが不十分だから	度数	12	12	27	13
	割合 (%)	5.1%	10.7	8.7%	10.9
パソコンの画面では読みにくいから	度数	50	30	87	39
	割合 (%)	21.4%	26.8	28.2%	32.8
インターフェースが使いにくいから	度数	13	10	22	11
	割合 (%)	5.6%	8.9	7.1%	9.2
ダウンロードに時間がかかるから	度数	13	5	20	14
	割合 (%)	5.6%	4.5	6.5%	11.8
英語の電子ジャーナルしかないから	度数	9	8	12	12
	割合 (%)	3.8%	7.1	3.9%	10.1
その他	度数	50	24	44	10
	割合 (%)	21.4%	21.4	14.2%	8.4
全体		234	112	309	119

# 印刷体雑誌の必要性(最新号)(Q17; 分野別)

■ 電子ジャーナルがあれば印刷体の雑誌は不要である ■ 電子ジャーナルと印刷体の雑誌の両方が必要

■ 印刷体の雑誌だけでよい

■ わからない・その他

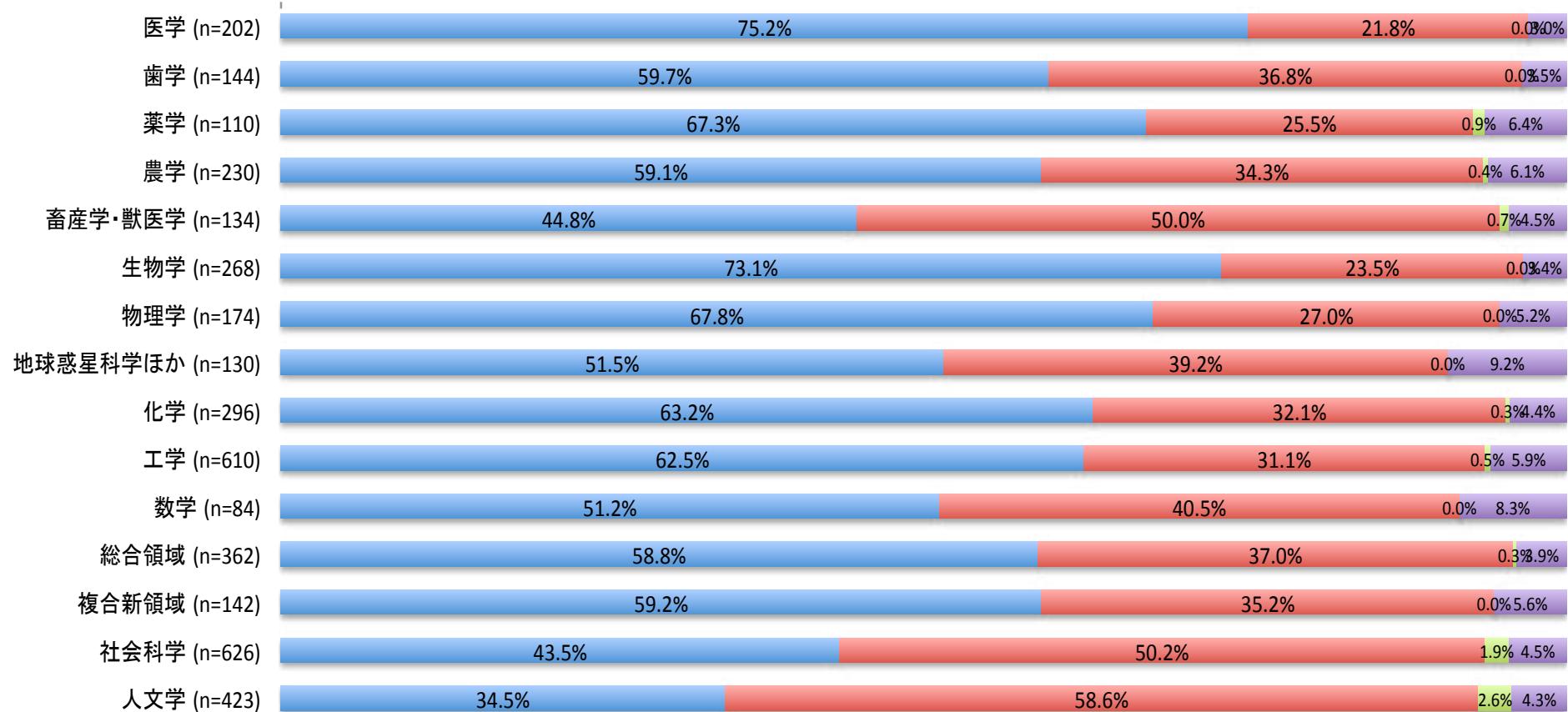


# 印刷体雑誌の必要性(バックナンバー) (Q18; 分野別)

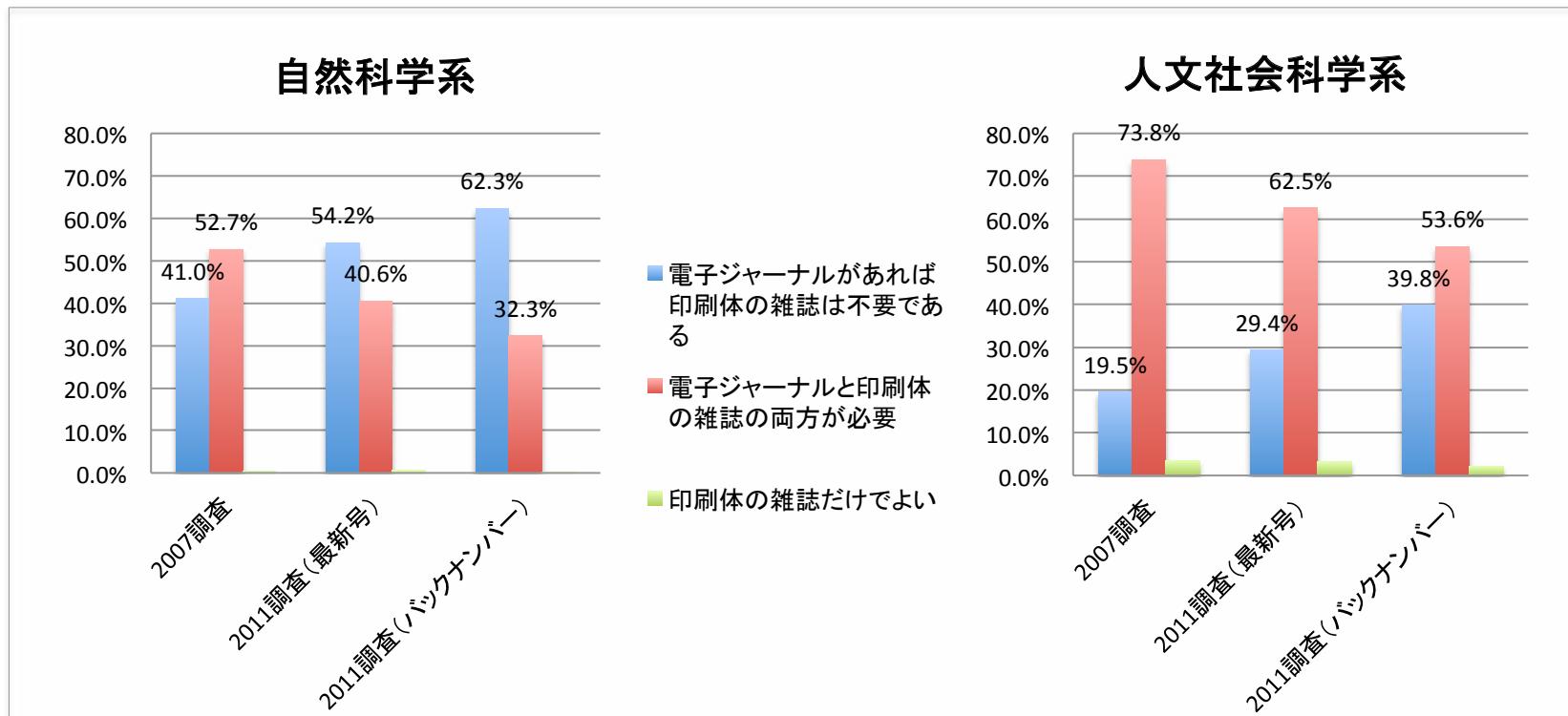
■ 電子ジャーナルがあれば印刷体の雑誌は不要である ■ 電子ジャーナルと印刷体の雑誌の両方が必要

■ 印刷体の雑誌だけでよい

■ わからない・その他



# 印刷体の必要性



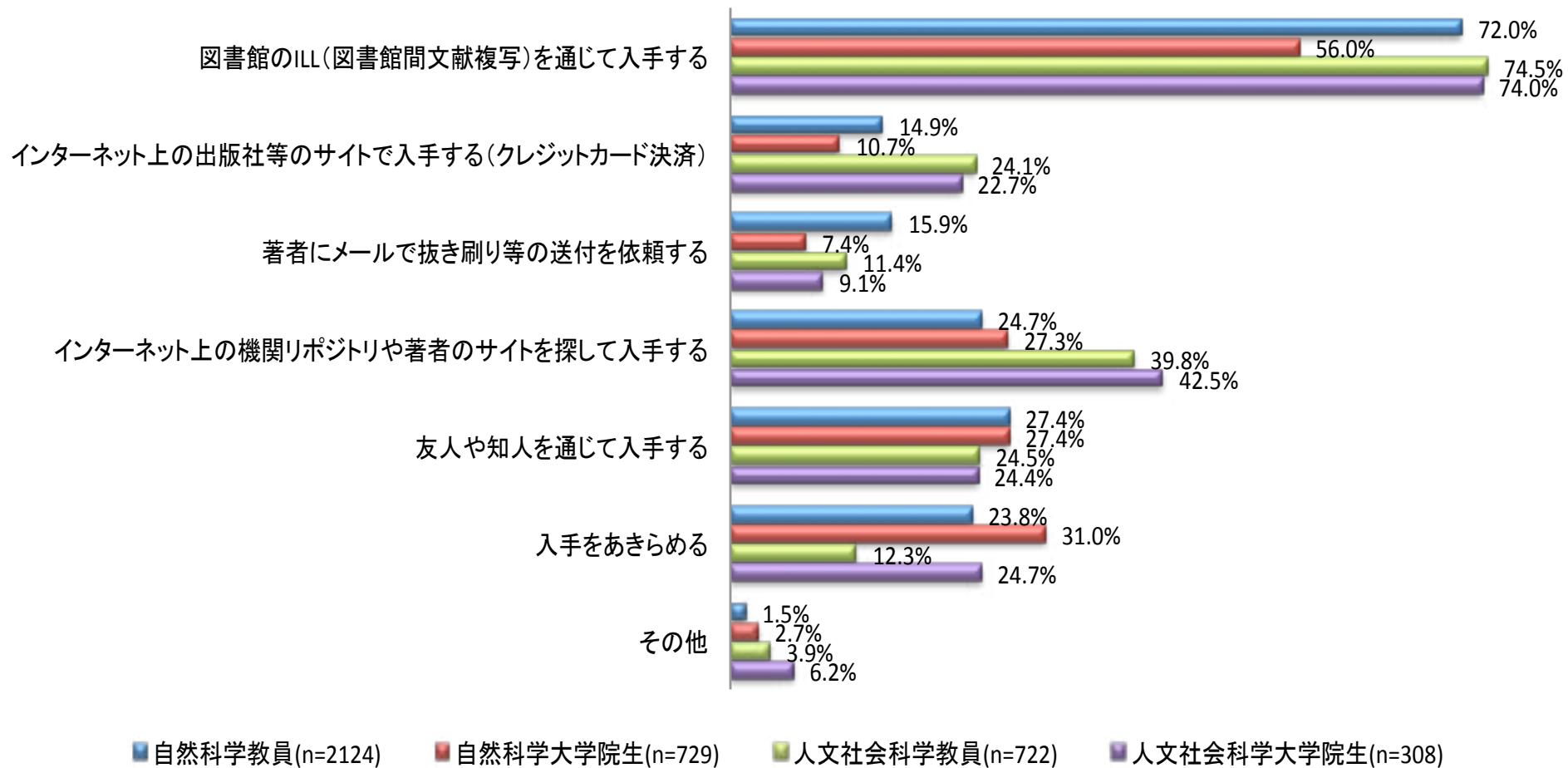
# 印刷体の必要性(バックナンバー；ラストリーディングによる分類別)

		電子 ジャーナ ルがあれ ば印刷体 は不要で ある	電子 ジャーナ ルと印刷 体の雑誌 の両方が 必要	印刷体の 雑誌だけ でよい	わからな い・その 他	合計	Pearson' s X2 test
<b>自然科学</b>							
国際的文献の 利用者	1, 482	699	6	116	2, 303	p-value = .000	
	64. 4%	30. 4%	0. 3%	5. 0%	100. 0%		
日本語文献の 利用者	190	153	2	16	361	p-value = .000	
	52. 6%	42. 4%	0. 6%	4. 4%	100. 0%		
<b>人文社会科学</b>							
国際的文献の 利用者	205	176	4	12	397	p-value = .000	
	51. 6%	44. 3%	1. 0%	3. 0%	100. 0%		
日本語文献の 利用者	152	276	14	19	461	p-value = .000	
	33. 0%	59. 9%	3. 0%	4. 1%	100. 0%		

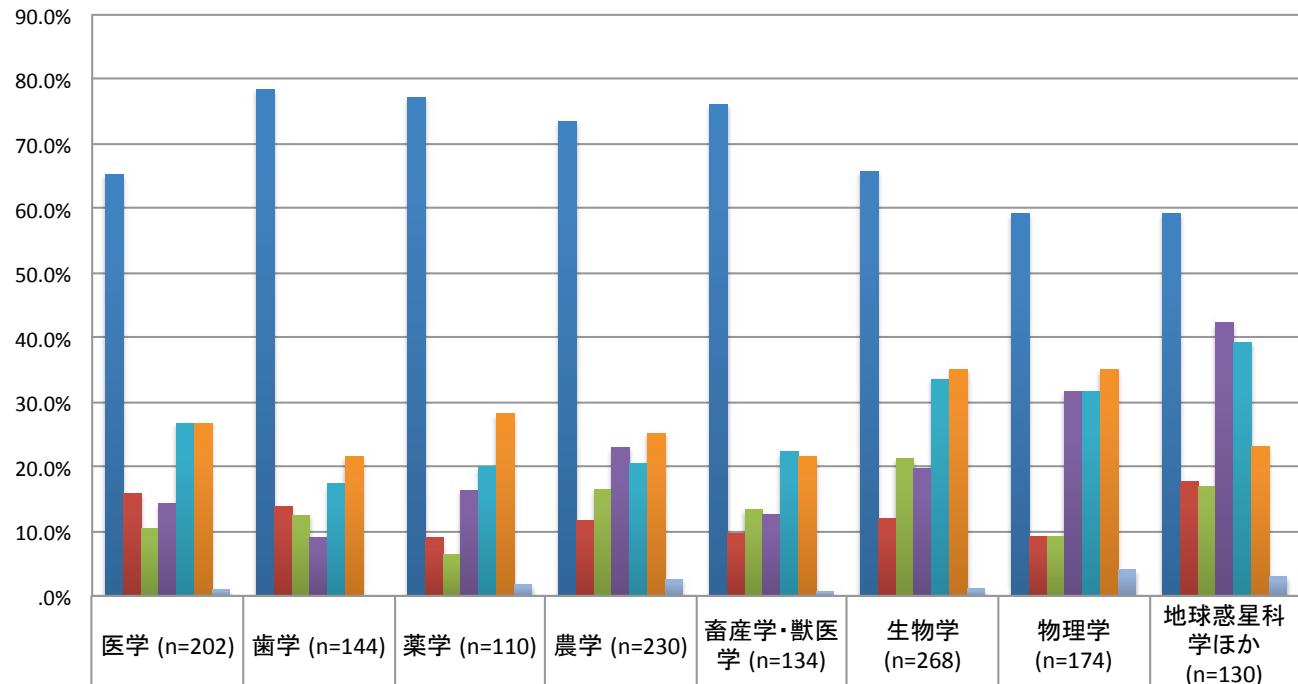
## 電子ジャーナル、印刷体雑誌以外 からの論文入手(Q19)

	教員 (n=2,846)	大学院生 (n=1,037)
図書館のILL(図書館間文献複写)を通じて入手する	2,067	636
インターネット上の出版社等のサイトで入手する(クレジットカード決済)	491	148
著者にメールで抜き刷り等の送付を依頼する	419	82
インターネット上の機関リポジトリや著者のサイトを探して入手する	812	330
友人や知人を通じて入手する	760	275
入手をあきらめる	594	302
その他	60	39

## Q19 必要な論文が電子ジャーナルまたは印刷体の雑誌で利用できないときにはどうしていますか？あてはまるものすべてを選んでください。

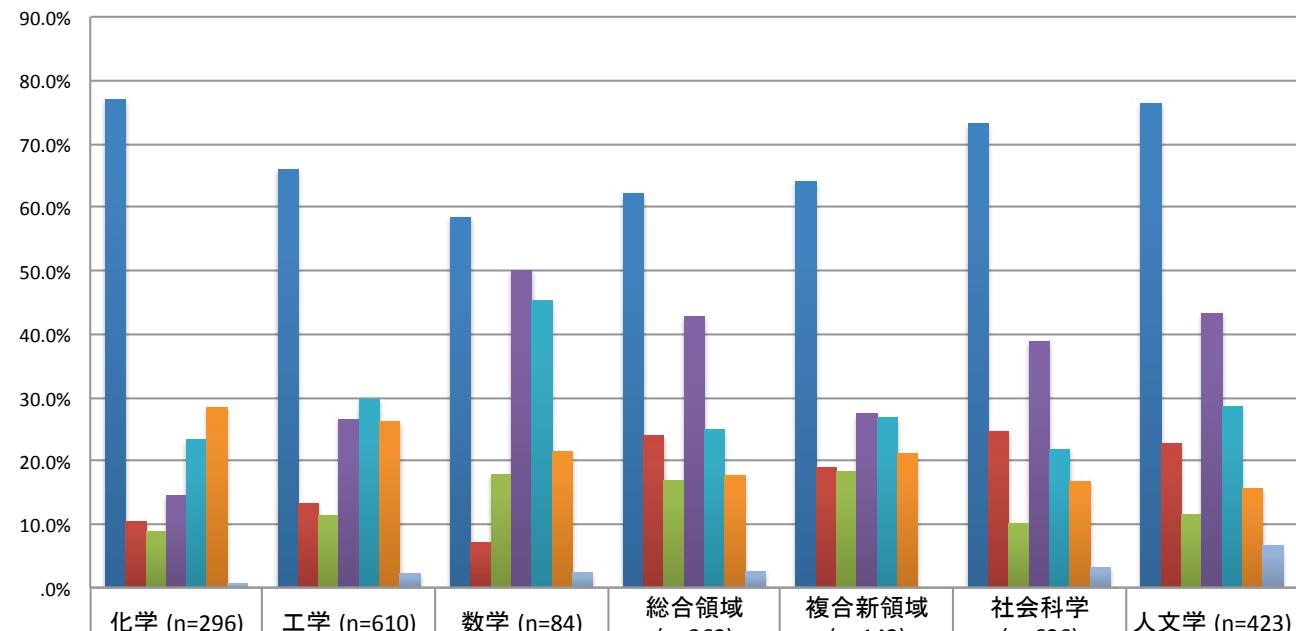


Q19 必要な論文が電子ジャーナルまたは印刷体の雑誌で利用できないときにはどうして  
いますか？あてはまるものすべてを選んでください



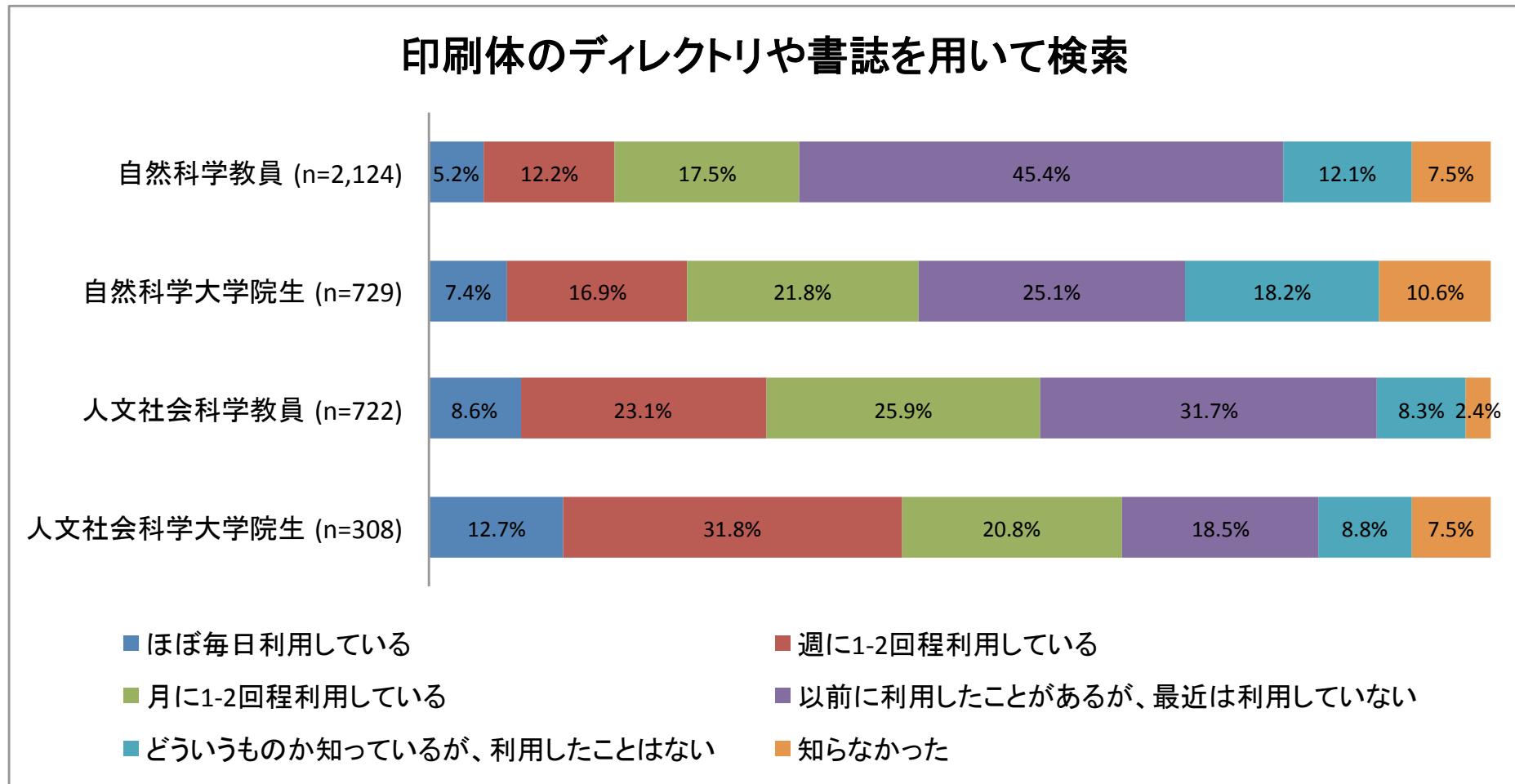
	医学 (n=202)	歯学 (n=144)	薬学 (n=110)	農学 (n=230)	畜産学・獣医学 (n=134)	生物学 (n=268)	物理学 (n=174)	地球惑星科学ほか (n=130)
■図書館のILL(図書館間文献複写)を通じて入手する	65.3%	78.5%	77.3%	73.5%	76.1%	65.7%	59.2%	59.2%
■インターネット上の出版社等のサイトで入手する(クレジットカード決済)	15.8%	13.9%	9.1%	11.7%	9.7%	11.9%	9.2%	17.7%
■著者にメールで抜き刷り等の送付を依頼する	10.4%	12.5%	6.4%	16.5%	13.4%	21.3%	9.2%	16.9%
■インターネット上の機関リポジトリや著者のサイトを探して入手する	14.4%	9.0%	16.4%	23.0%	12.7%	19.8%	31.6%	42.3%
■友人や知人を通じて入手する	26.7%	17.4%	20.0%	20.4%	22.4%	33.6%	31.6%	39.2%
■入手をあきらめる	26.7%	21.5%	28.2%	25.2%	21.6%	35.1%	35.1%	23.1%
■その他	1.0%	0.0%	1.8%	2.6%	0.7%	1.1%	4.0%	3.1%

Q19 必要な論文が電子ジャーナルまたは印刷体の雑誌で利用できないときにはどうして  
いますか？あてはまるものすべてを選んでください



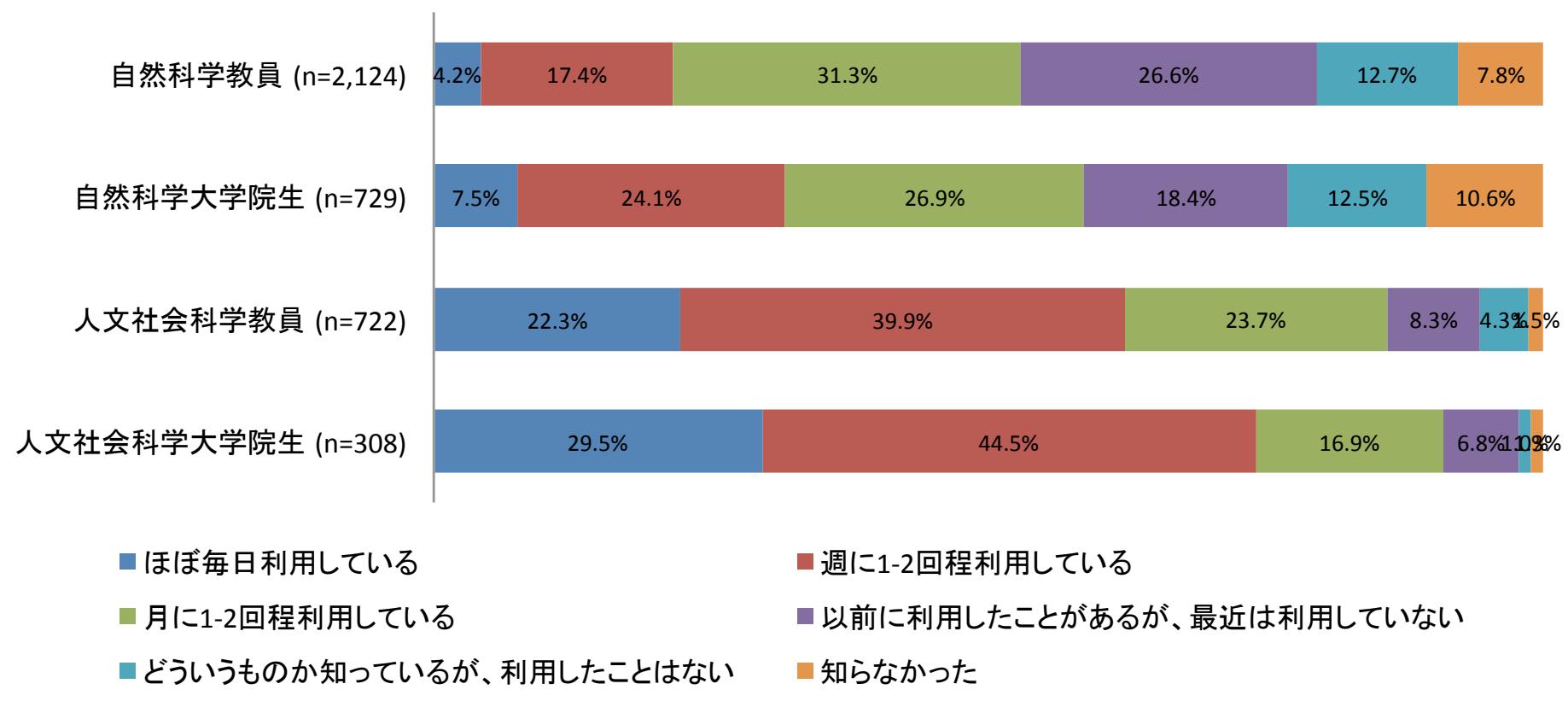
■ 図書館のILL(図書館間文献複写)を通じて入手する	77.0%	65.9%	58.3%	62.2%	64.1%	73.2%	76.4%
■ インターネット上の出版社等のサイトで入手する(クレジットカード決済)	10.5%	13.3%	7.1%	24.0%	19.0%	24.6%	22.7%
■ 著者にメールで抜き刷り等の送付を依頼する	8.8%	11.3%	17.9%	16.9%	18.3%	10.1%	11.6%
■ インターネット上の機関リポジトリや著者のサイトを探して入手する	14.5%	26.6%	50.0%	42.8%	27.5%	38.8%	43.3%
■ 友人や知人を通じて入手する	23.3%	29.7%	45.2%	24.9%	26.8%	21.7%	28.6%
■ 入手をあきらめる	28.4%	26.2%	21.4%	17.7%	21.1%	16.8%	15.6%
■ その他	0.7%	2.3%	2.4%	2.5%	0.0%	3.2%	6.6%

# 発見手段の利用頻度(Q20)

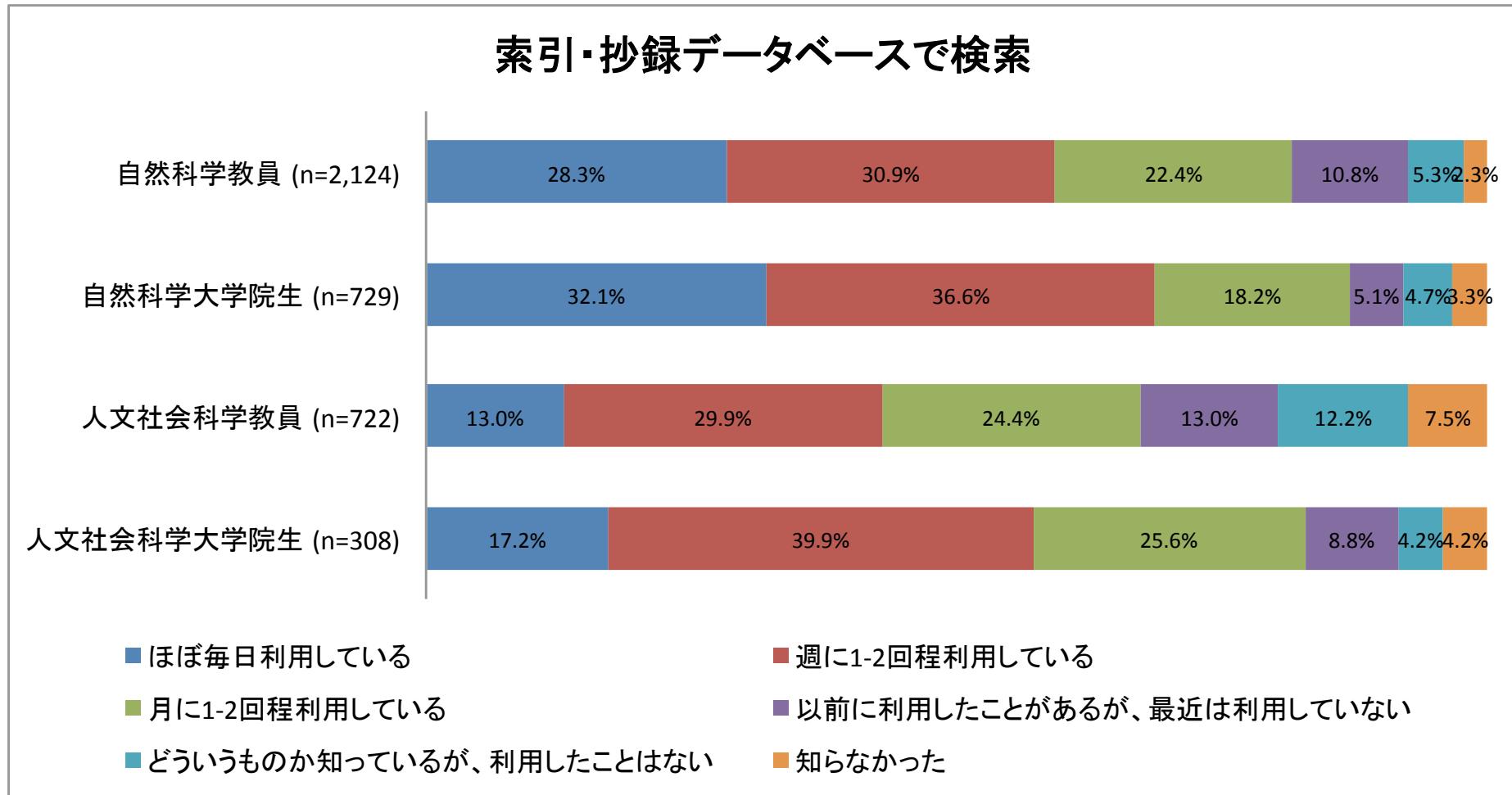


# 発見手段の利用頻度(Q20)

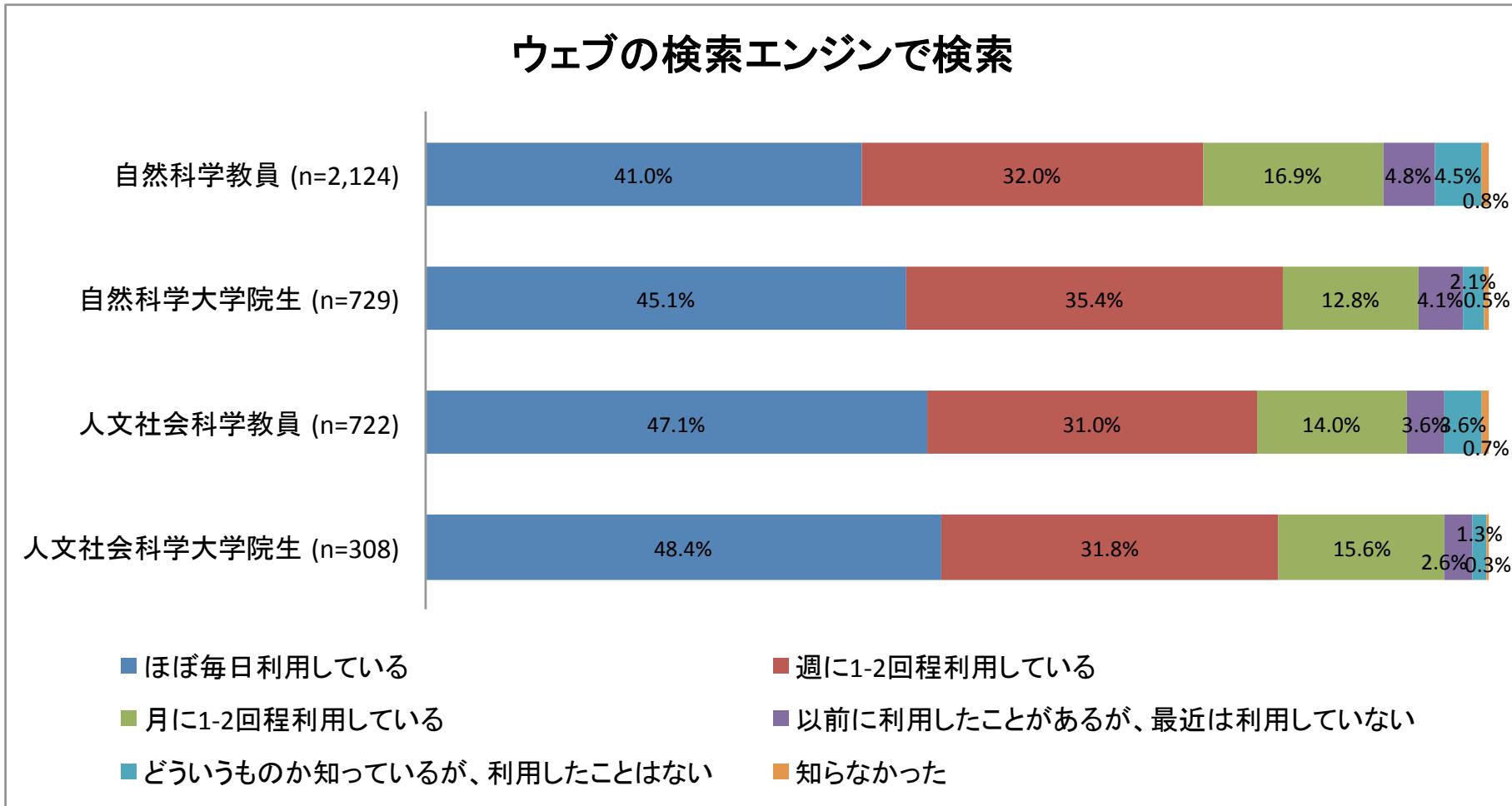
図書館のOPACやNACSIS-WebCatで検索



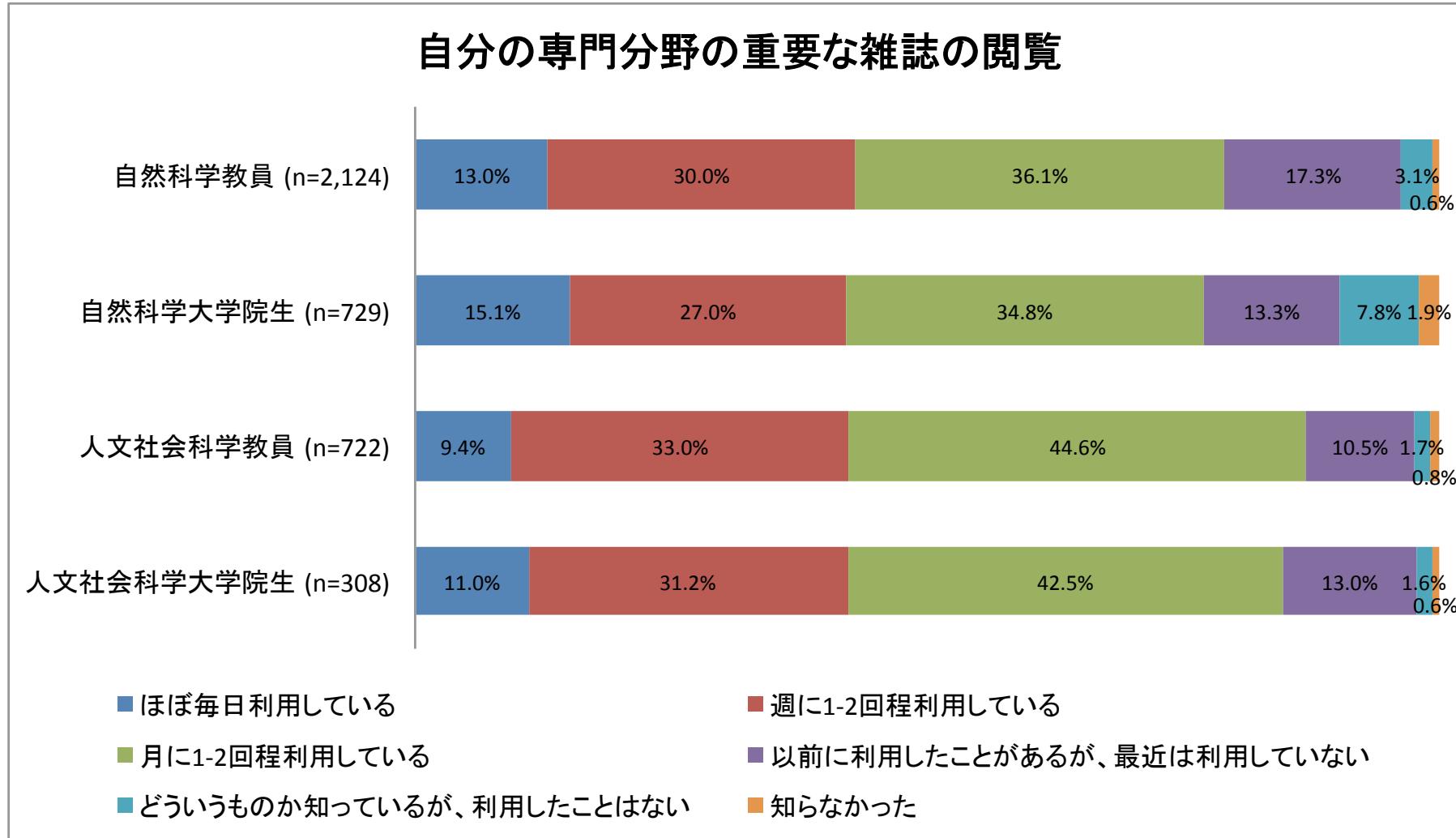
# 発見手段の利用頻度(Q20)



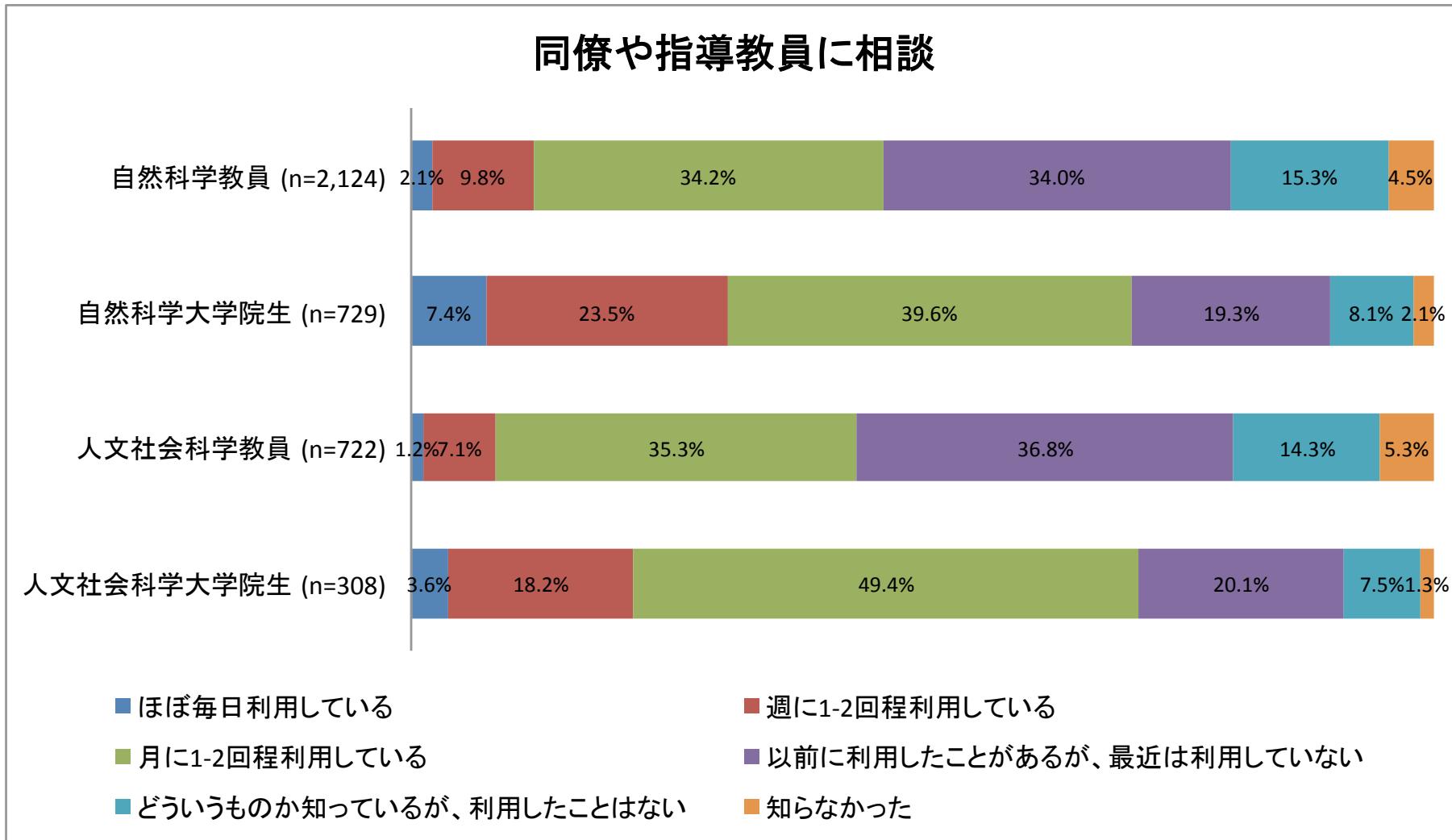
# 発見手段の利用頻度(Q20)



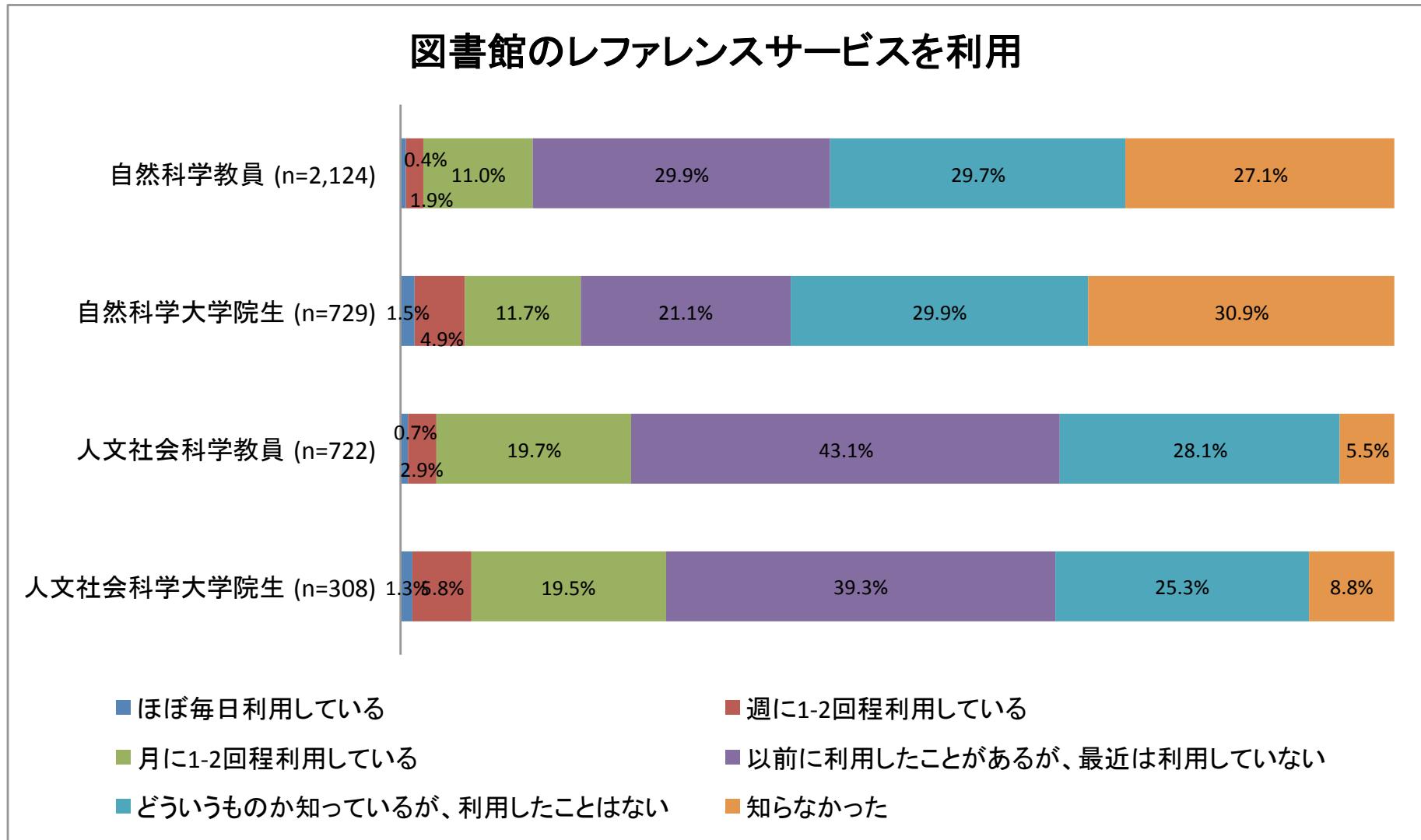
# 発見手段の利用頻度(Q20)



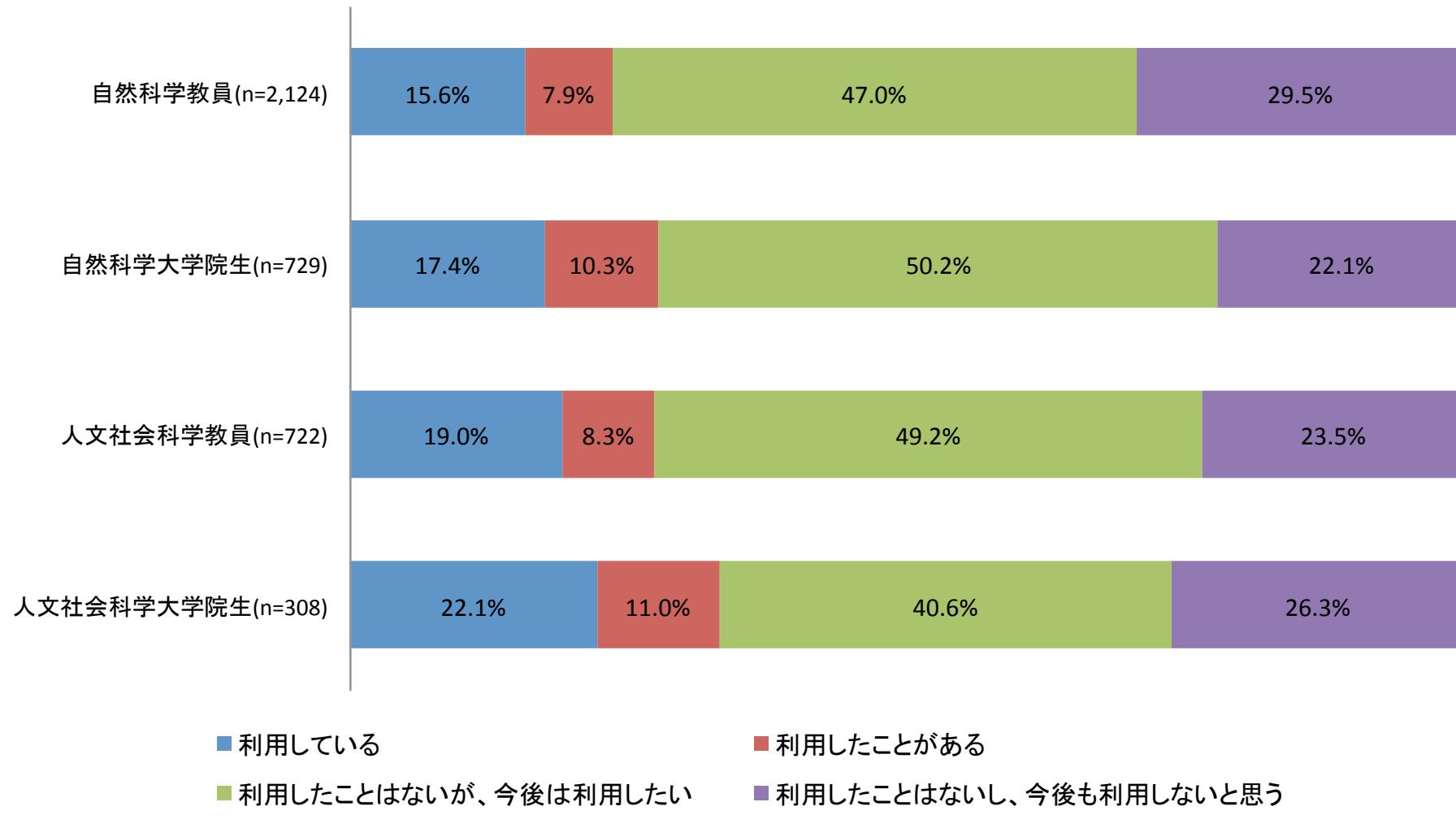
# 発見手段の利用頻度(Q20)



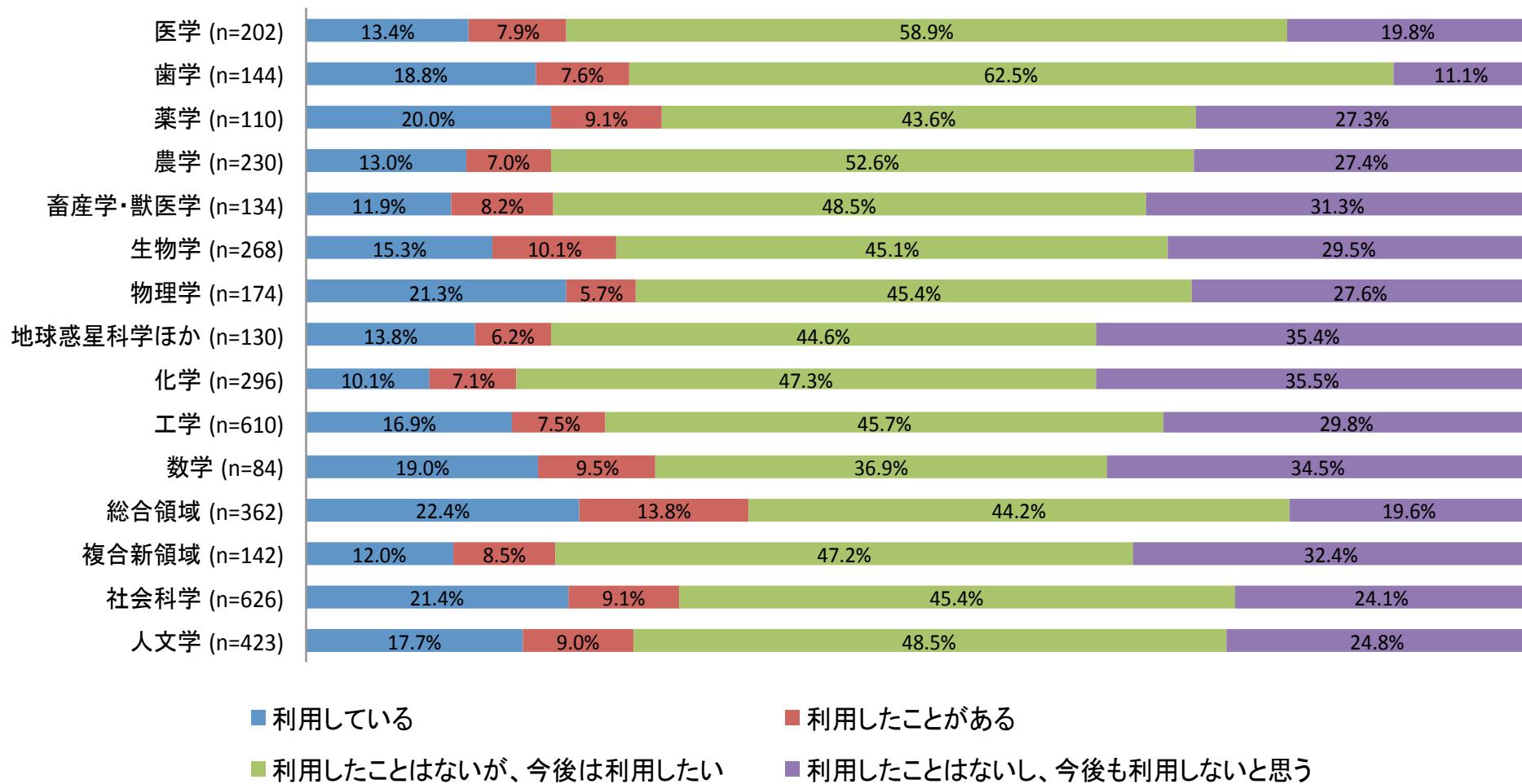
# 発見手段の利用頻度(Q20)



## Q21 電子書籍(文献)を表示できる端末を、研究・教育に関する資料のために利用していますか？



## Q21 電子書籍（文献）を表示できる端末を、研究・教育に関連する資料のために利用していますか？

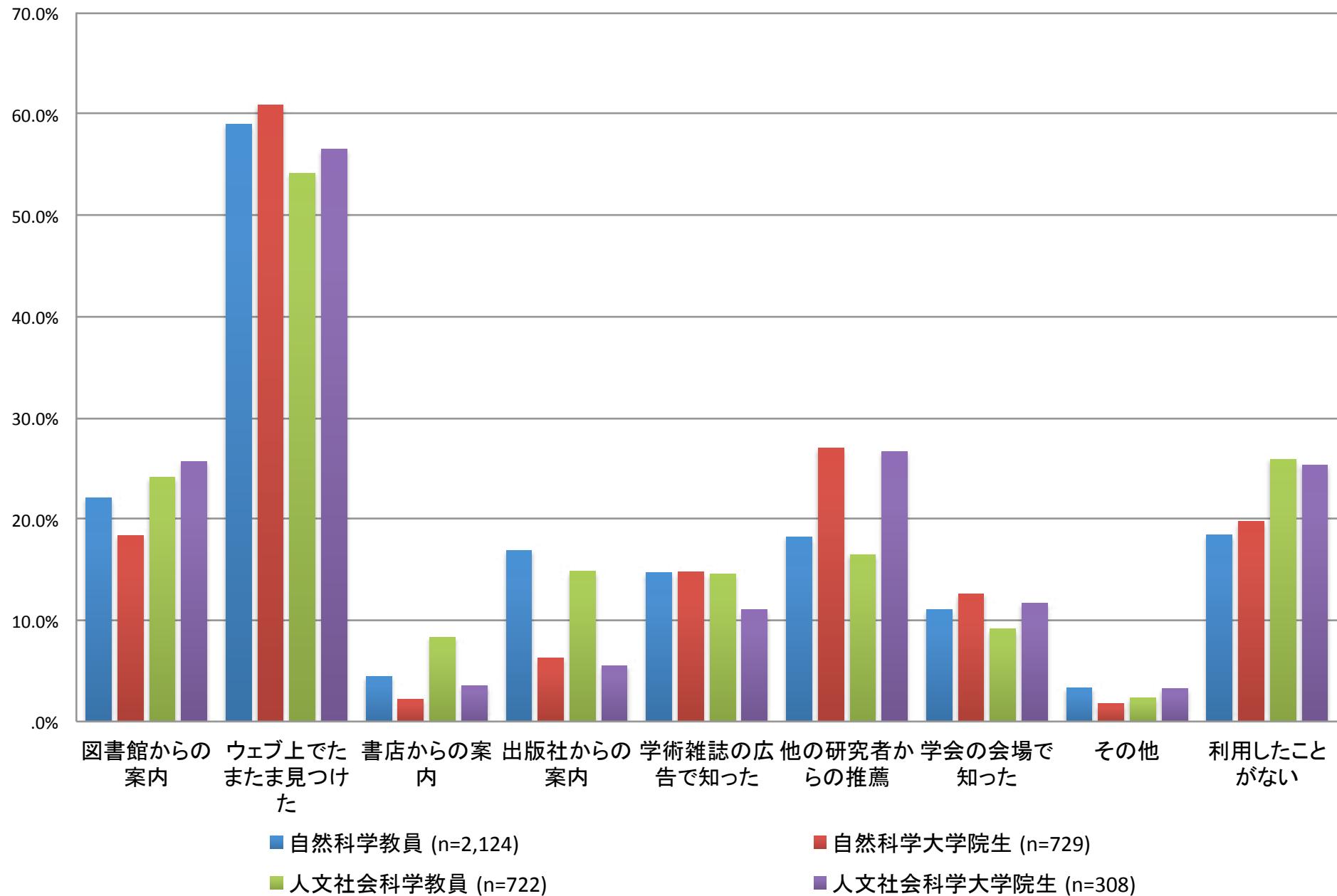


# 電子書籍サイトの研究教育目的での利用 (Q22)

(n=3,982)

	週に1回以上 利用する	月に1 - 2回程 利用する	利用したこと がある	知ってはいる が利用したこ とはない	知らない
NetLibrary	1. 0%	1. 5%	3. 9%	15. 2%	78. 4%
ebrary	0. 6%	0. 7%	1. 6%	12. 8%	84. 3%
Safari (Safari TechBooks Online)	2. 6%	1. 3%	4. 4%	22. 5%	69. 3%
Google ブックス	6. 2%	9. 6%	18. 2%	33. 0%	33. 0%
Amazon Kindle Store	1. 9%	3. 2%	9. 0%	47. 7%	38. 2%
Apple iBookstore	1. 0%	1. 4%	7. 1%	44. 4%	46. 0%
Taylor & Francis	1. 8%	4. 1%	7. 5%	18. 2%	68. 3%
Cambridge Univ. Press	2. 3%	5. 9%	16. 1%	29. 6%	46. 1%
Oxford Univ. Press	3. 4%	6. 9%	18. 7%	30. 3%	40. 7%
Wiley Online Library	10. 8%	11. 3%	15. 7%	20. 4%	41. 7%
SpringerLink	14. 6%	17. 1%	17. 9%	16. 7%	33. 7%
ScienceDirect (Elsevier)	25. 1%	18. 4%	15. 5%	13. 0%	28. 0%

## Q22-2 電子書籍に関する情報を得るのに、以下のどれが役立ちましたか？



# 電子ジャーナルに今後必要な機能 (Q16)

- 1,752件の回答（「なし」「特になし」等のコメントを除く）  
⇒ テキスト分析（[別紙参照](#)）

# 要望・意見

- Q23. 学術情報、研究情報の利用に関し問題となる事項、あるいは図書館や出版社への要望があれば、ぜひ記入してください。
- Q24. 学術研究、高等教育に関連する図書館サービスの今後のあり方について、要望や意見を自由に記入してください。
  - それぞれ、980件、919件の回答（「なし」「特になし」等のコメントを除く）  
⇒ 2007年調査では「自宅や出張先からのアクセス」が約半数だったが、今回調査できわめて少なかった（vpn等による解決が進んだ結果と思われる）。